館報

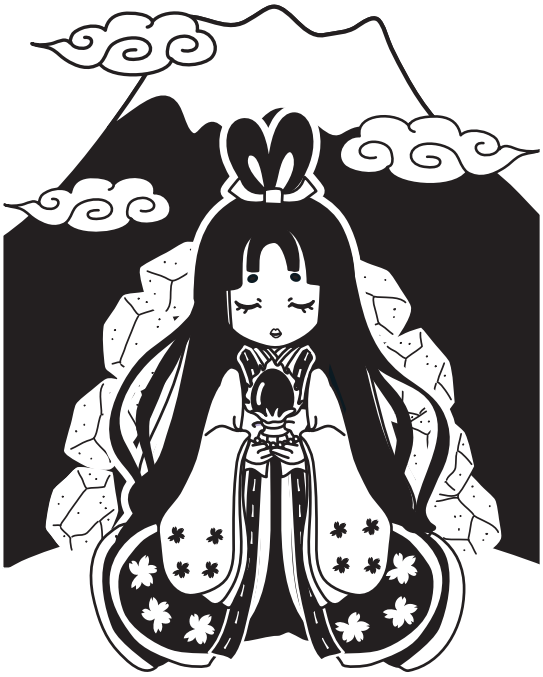
第33号

平成29年度

2018年8月

富士山かぐや姫ミュージアム

Mt.Fuji and Princess Kaguya Museum



ふじかぐちゃん

富士市行政資料登録番号　30-7

博物館を長寿社会に繋ぐ

平成23年度に博物館長として着任し、本年度で8年目となりましたが、その間、本館の耐震工事をはじめ、展示室の増設と全面的なリニューアル、新収蔵庫の建設、公園と一体化を図るため2階へ新玄関の設置と園路整備、観覧料無料化に伴う条例改正、ミュージアムショップの開設、六所家総合調査のまとめ等々、これまで懸案となっていた課題を駆け足で実施させていただきました。これも、市民の皆様の御理解と御支援があって実現出来たものと感謝申し上げます。

おかげをもちまして、平成28年4月には装いを新たに富士山かぐや姫ミュージアムとして再スタートし、運営につきましても漸う軌道に乗り、今日に至っているところでございます。しかしながら、現在もソフト・ハード両面共に、新たな課題が山積しており、それぞれ対応方針を模索しているところでございます。そこで、多々ある課題の中でも、経営の根幹とされる、博物館がこれから向かうべき道筋と将来像について、「繋ぐ」をキーワードに標しておきます。因みに、国語辞典によれば「繋ぐ」は、切れないようにするとか、結びつける、留め置く、絶えないようにする、受け渡す、受け継ぐ等と説明されておりますが、正に博物館業務全般にも通ずる言葉であると思います。

さて、博物館の将来像を考える上で、前提となる社会環境でございますが、昨今100年人生時代という言葉をよく耳にします。我が国は世界でも類を見ない超高齢長寿国と言われ、加えて晩婚化並びに出生率が低下し、少子化が急速に進むと共に、若者を中心に、地方から東京等大都市へ人口が流出し、歯止めが掛からない状況です。これを受け博物館におきましても、超高齢長寿社会に対応した施設の再整備と、運営の大転換が喫緊の課題となっております。当市におきましても、長寿者が年々増える中で若者の人口減少が急速に進んでおります。当館では、これまで学校教育と連携した事業をはじめ、小学生を中心とした子供や、一般成人を対象とした企画展やワークショップ等につきましては積極的に取り組んでまいりましたが、熟年層を対象とした能動的な事業については実際のところほとんど実施しておりませんでした。一方、利用者の年代層を見てみますと60代～70代の方が多く、四半世紀前には非常に少なかった80代以上の方もかなり増え、近年は高齢者デイサービスや老人ホーム入所者の福祉目的での利用も見られるようになり、熟年層が博物館利用者の中核を担っております。この傾向は益々加速するものと考えられます。熟年層の利用者でございますが、心身が健康な方につきましては、知的レクリエーションの場・生涯学習の場としてこれまで通り博物館を御利用いただければと思います。しかしながら、高齢により体の自由が利かなくなった方や、認知症などを抱え、他者の介助なしには生活の質の維持ができなくなった方、施設に入所後単調な生活になりがちな生活に刺激を求めている方々につきましては、博物館としてもハード・ソフト両面において高齢者福祉を主眼とした特別な施設整備・対応・プログラムが必要となります。

このような課題に対して、近年、回想法を取り入れた各種プログラムの実施や、高齢者福祉施設・医療機関・NPO・福祉系大学等と連携した事業により、実績を上げている先進博物館が見られるようになってまいりました。遅まきながら、当館におきましても回想法のプログラム研究や、福祉施設・機関との連携に向けてのアクションを始めたところです。恐らく、当館のような公立の歴史系郷土博物館は、社会教育施設であることは当然ですが、現在注力しております文化観光に加え、今後は長寿社会に適応した福祉サービスの一翼を担う施設としても位置づけられるものと想定されます。そのようなことからも冒頭の「繋ぐ」を念頭に、福祉・医療関連機関や施設・組織・人との連携が肝要であります。

現在、当市では第6次総合計画の策定に入っておりますが、博物館では、分館の歴史民俗資料館や歴史ゾーンを含め、将来を見据え、高齢者にやさしい施設へ転換すべく、包括的整備構想の検討に着手しました。これらハード面の整備構想を具現化するに当たり、先ず、長寿社会への対応を前面に打ち出したソフト事業の実施が定常的に行われており、その実績・成果が市民の皆様に認知・支持されることが大事であろうかと思います。そのためには、博物館職員個々の考え方や思いがぶれず、一本に繋がっており、関係機関や組織との繋りを大切にしながら、人や担当が変わっても事業が切れないよう繋げていくことが求められます。

平成30年8月

富士山かぐや姫ミュージアム
館長　　木ノ内　義昭

目次

ごあいさつ

平成 29 年度　年報と概要

1　平成 29 年度　事業報告

(1) 展示会 …… 4

(2) 教室・講座・イベント・調査 …… 8

(3) 学校等への参加協力事業 ……16

(4) 富士市立博物館ボランティアの活動 ……21

(5)富士山かぐや姫ミュージアムイメージキャラクター「ふじかぐちゃん」に愛称決定… 23

2　平成 29 年度　施策・利用状況

(1) 教育行政の基本方針と施策……24

(2) 予算・決算の概要 ……24

(3) 博物館協議会 ……25

(4) 利用状況 ……26

(5) 観覧者の声……28

3　富士山かぐや姫ミュージアムの概要

(1) 施設の概要……32

(2) 事業の概要 ……33

(3) 資料及び図書収集状況……36

(4) 富士市立博物館条例・規則……39

利 用 案 内 ……43

平成 29 年度

年報と概要

Annual Report
2017

1　平成 29 年度　事業報告

（1） 展 示 会

自主展観事業				
種別	第 54 回企画展		リニューアルオープン 1 周年記念展	
事業名称	東洋美術史の父　大村西崖		富士登山列伝　～頂に挑むということ～	
会期	2017/3/11（土）～ 5 /21（日） 【63 日間】		2017/6/3（土）～ 8/27（日） 【75 日間】	
内容	東京美術学校で教鞭をとり、全国宝物取調局の調査に携わるなど、日本の近代美術教育や文化財保護の礎を築くなど、大きな功績を残した大村西崖（1868 ～ 1927）の足跡を辿った。 前期展示：3/11 ～ 4/16　32 日間 後期展示：4/18 ～ 5/21　31 日間		富士山は、聖なる山として信仰の対象であるとともに、挑むべき対象として、多くの登山者がアタックしてきた。本展示では、並み居る登山者の中でも、下記のような、表口を中心に歴史に名を刻んだ登山者を各種資料から取り上げ、富士山に挑むということの意味を探り、これまであまり取り上げられてこなかった登山の対象としての富士の姿を示した。 **展示構成**　①富士登山のレジェンド　②富士山の修行者たち　③お殿様、富士に挑む　④外国人、富士に挑む　⑤富士の頂で気象観測に挑む　⑥登山記に見る富士登山　⑦写真・映像等に見る富士登山	
会場	展示室 5 ・ 6		展示室 5 ・ 6 ・ 2	
対象	一般		一般	
来場者数	大人	11,237 人	大人	6,915 人
	小人	4,179 人	小人	2,519 人
	合計	15,416 人	合計	9,434 人
	1 日平均 245 人		1 日平均 126 人	
関連イベント	・特別講演会「大村西崖の生涯と功績」/ 講師：吉田千鶴子氏 (元東京藝術大学非常勤講師)/ 日時：5/14(日)14:00 ～ / 会場：講座室 / 参加者：41 人 / 受講料：350 円 ・学芸員による展示解説（無料）　3/11(8 人)、3/20(12 人)、3/25(20 人)、4/8(5 人)、4/16(4 人)、4/22(7 人)、4/30(4 人)、5/7(11 人)、5/21(38 人 /42 人)　※ 13:30 ～（5/21 のみ 11:00 からも実施）		・講演会「山に挑むということ」/ 講師：草分俊顕氏 (聖護院門跡・修験者)/ 日時:7/8(土)14:00 ～ / 会場:講座室 / 参加者:41 人 / 受講料:400 円　・「聖徳太子絵伝絵解き」/ 講師：末松美咲氏 (名古屋大学博士研究員)/ 日時:8/19(土)13:30 ～ / 会場:展示室 5・講座室 / 参加者:30 人 / 受講料:無料　・「富士参詣曼荼羅（松栄寺本）限定公開」/ 日時:8/4 ～ 8/6　/ 会場：展示室 4　/ 参加者：461 人　・「富士参詣曼荼羅（松栄寺本）絵解き」/ 講師:大高康正氏（静岡県世界遺産センター整備課）/ 日時：8/5（土）14:00 ～ / 参加者：約 100 人　・学芸員による展示解説（無料）　会期中の毎土曜日（7/8・8/5・8/19 を除く）/ 参加者：143 人（全 20 回）※（11 時～ /14 時～)	
	合計	192 人	合計	775 人

東洋美術史の父　大村西崖　特別講演会

富士登山列伝

自主展観事業				
種別	秋のテーマ展			
事業名称	地頭と呼ばれた寺院 ～江戸時代　東泉院領に生きる“神領百姓”～		静岡県立美術館　移動美術展 富士山と静岡ゆかりの画家たち	
会期	2017/9/9（土）～ 10/22（日）【38 日間】		2017/11/3（金祝）～ 2017/12/3（日）【27 日間】	
内容	市内今泉 8 丁目にあった密教寺院・東泉院は、六所家総合調査を経て平成29年度に基礎的な整理が完了した。東泉院は、寺領 190 石を領する領主としての側面も持ち合わせていた。そして富士市域のほかの領主とは違い、在地に領主がいるということが領民との関係を濃密なものとさせた。今回の資料調査では、東泉院と百姓がどのような関係のなかで暮らしていたのかがわかる資料が発見された。それは江戸時代を通して普遍的な領主 - 百姓関係を示すものと、東泉院領にしか見られない特殊なものがある。今回の展示では、六所家総合調査の成果を広く周知するとともに江戸時代の村の百姓の暮らしの実態に迫った。		静岡県立美術館と共催で行う、同館収蔵品の移動美術展。県立美術館へなかなか足を運ぶ機会の少ない方々に、気軽に芸術鑑賞ができる場を設け、県立美術館の作品に親しんでいただいた。	
会場	展示室 5 ・6		展示室 5	
対象	一般		一般	
来場者数	大人	4,541 人	大人	4,832 人
	小人	984 人	小人	511 人
	合計	5,525 人	合計	5,343 人
	1 日平均 145 人		1 日平均 198 人	
関連イベント	・ギャラリートーク（無料）/　日時：9/9、9/17、9/18、9/24、10/15、10/21/ 参加者：165 人（全 11 回）※（11 時～ /14 時～）　・「古文書を読んでみよう！」（無料）/ 会場：講座室・展示室 6　/ 日時：10/7・10/14・10/21　10:00 ～ 10:45　/ 参加者：29 人（全 3 回）　・火縄銃を持ってみよう（無料）/ 日時：10/1・10/22 ※（11 時～ /14 時～）　/ 会場：展示室 5 前　/ 参加者：74 人（全 4 回）		・フロアレクチャー（作品解説、無料）/ 講師：静岡県立美術館学芸員 / 日時：11/12・11/26　14:00 ～ / 会場：展示室 5 / 参加者：41 人 ・ギャラリーツアー（無料）/ 講師：静岡県立美術館展示ガイド / 日時：11/5・12/3　13:30 ～・14:30 ～ / 会場：展示室 5 / 参加者：47 人（全 4 回）	
	合計	268 人	合計	88 人

地頭と呼ばれた寺院

静岡県立美術館　移動美術展

自主展観事業						
種別	第 55 回企画展		春のテーマ展		特集展示（富士山の玉手箱）	
事業名称	産業の種蒔く人―伝法中原 4 号墳と古代のエンジニアたち		オフダに込められた祈りのカタチ		小山もと子生誕 100 年記念寄贈品展	
会期	2017/12/16（土）～ 2018/3/4（日）【59 日間】		2018/3/17（土）～ 3/31（土）【12 日間※ 29 年度】本会期は 5/20 まで			
内容	1992 年に発掘調査された中原 4 号墳は、直径 10 mの小さな墳丘にもかかわらず、東海地域初の発見となった鍛冶具を含む多様な副葬品群が発見されたことで、県内外の考古学者に大きな衝撃を与えた。それから 20 年以上の歳月を経て、ようやく 2016 年に報告書が刊行され、その詳細な内容が世間に発信されるとともに、改めてこの古墳に葬られた人物の来歴やその後の地域社会に与えた影響が問われるようになったのである。この企画展では、富士市指定文化財に登録されたばかりの中原 4 号墳の出土品を一堂に会するとともに、同時代の静岡県中・東部地域の古墳や鍛冶・窯業・ガラスなどの生産遺跡を紹介することで、この古墳に葬られた人物が果たした役割と古代の手工業生産の実態へと迫った。		護符と総称されるお札や棟札は、人々が日々を平穏に暮らすことを願ったカタチそのものであり、その地域に住んできた人々の歴史や文化について知ることができる貴重な資料である。この展示会では、館蔵の棟札や祈祷札といったお札類、市内の寺社で発行されている特色あるお札類も併せて紹介し、お札に込められた祈りのカタチについて広く知っていただく機会とした。		富士の型染の創始者である小山もと子氏生誕 100 年の節目に、平成 29 年 11 月に寄贈された約 3,500 点もの資料から、半世紀にわたって染色家として身近な野菜や草花をはじめ、郷土の自然や心象風景などを多彩に表現されてきた故人の作品の一部を紹介した。	
会場	展示室 5・6		展示室 5・6		展示室 2	
対象	一般		一般		一般	
来場者数	大人	5,827 人	大人	2,799 人	大人	2,799 人
	小人	2,336 人	小人	864 人	小人	864 人
	合計	8,163 人	合計	3,663 人	合計	3,663 人
	1 日平均 138 人		1 日平均 305 人※ 29 年度		1 日平均 305 人※ 29 年度	
関連イベント	・市指定文化財記念シンポジウム「中原 4 号墳の被葬者に迫る」（文化振興課主催）/ 日時：1/21（日）10:00 ～ 16:30 / 会場：富士市消防防災庁舎大会議室 / 参加者：120 人　・「中原 4 号墳カード・クエスト」（カードラリー、無料）/ 期間：会期中 / ゴール人数：212 人　・「黒ピカ土玉アクセサリー作り / 日時：3/4（日）10:00 ～・14:00 ～ / 受講料：200 円 / 参加者：24 人　・「伝法・大淵古墳ミステリーツアー」（無料）/ 日時：1/14（日）・2/10（土） 9:30 ～ 12:00　/ 参加者：35 人　・学芸員によるミュージアム解説（無料）/ 日時：12/16・12/23・1/20・2/4・2/18・2/24・3/4（※ 11 時～ /14 時～）/ 参加者数：244 人（全 20 回）		・「富士山のお札を摺ってみよう」/ 日時：3/25（日）9:00 ～ 12:00　/ 会場：染色室 / 参加者：8 人　/ 受講料：500 円・ギャラリートーク（無料）/ 日時：会期中の第 2・第 4 土曜日および 2018/5/20（土）（※ 11 時～ /14 時～）/ 参加者数：125 人		・「小山もと子氏の型紙でしおり作り」/ 日時：会期中の土・日曜日 10:00 ～ 14:00/ 会場：染色室 / 参加者：193 人 / 体験料：1 枚 50 円・「富士の型染グループによる展示解説」/ 日時：同上 / 参加者 1,729 人	
	合計	775 人	合計	133 人	合計	1,922 人

産業の種蒔く人（展示室 5）

産業の種蒔く人（展示室 6）

自主展観事業								
種別	特集展示（富士山の玉手箱）							
事業名称	浮世絵にみる富士の巻狩		石版画（リトグラフ）にみる富士の姿		浮世絵で見る東海道からの富士山		富士ゆかりの画家井上恒也展	
会期	2017/4/8（土）～5/28（日）【45 日間】		2017/9/16（土）～12/24（日）【86 日間】		2018/1/4（木）～3/11（日）【54 日間】		2017/11/3（金祝）～12/3（日）【27 日間】	
内容	収蔵品のうち、歌川豊国・国芳・貞秀といった人気絵師によって描かれた巻狩に関わる浮世絵作品のほか、巻狩と同時代の出土品を展示した。		幕末から明治初年に技術が伝来し、富士山をモチーフにした数多くの作品が生み出された石版画について、収蔵品 28 点を展示し、当時の作家がどのように富士山を見つめ、イメージし、版として残したのかを紹介した。		様々な東海道と富士山を描いた浮世絵を展示し、街道を行きかう人々の様子と絵師たちがどのような富士山を見たのか、時代の移り変わりとともに紹介した。		静岡県立美術館移動美術展と同時開催で、当館所蔵品のなかから、富士の自然と野鳥や花を愛し続けた井上恒也の作品とゆかりの品を紹介した。	
会場	展示室 2		展示室 2		展示室 2		展示室 6	
対象	一般		一般		一般		一般	
来場者数	大人	8,198 人	大人	10,596 人	大人	5,984 人	大人	4,832 人
	小人	3,444 人	小人	2,166 人	小人	2,707 人	小人	511 人
	合計	1,1642 人	合計	12,762 人	合計	8,691 人	合計	5,343 人
	1 日平均 259 人		1 日平均 148 人		1 日平均 161 人		1 日平均 198 人	
関連イベント	特になし		特になし		特になし		特になし	

浮世絵にみる富士の巻狩

富士ゆかりの画家　井上恒也展

小山もと子 生誕 100 年記念寄贈品展

富士登山列伝（フライヤー）

地頭と呼ばれた寺院（フライヤー）

産業の種蒔く人（フライヤー）

（2） 教室・講座・イベント・調査

各種講座教育普及事業			
種別	陶 芸・土器作り		
事業名称	チャレンジ !! 陶芸	陶芸歳時器	陶芸室自由開放日
日時	偶数月第 2・4 土曜 9:30 ～ 11:30 各回 2 回計 12 回	奇数月第 2 土曜 9:30 ～ 11:30　計 5 回 ※博物館まつり日程変更により開催数 1 回減	毎月第 2 日曜 ※ 6・12 月を除く　9:30 ～ 16:00 計 10 回
内容	陶芸を始めてみたい初心者を対象に開催。気軽に陶芸に触れることができる講座。2 回で 1 講座。 参加者は、講師から基本的な成形を習い、1 回目は粘土 1 kgを使って好きな形の作品を作る。乾燥後、素焼きを行い、2 回目には、素焼きの作品に呉須で絵付けを行う。その後、希望の釉薬をかけて焼き上げた。 完成は 1 ヶ月後。	初心者でも作りやすいテーマを季節ごとに設定し、粘土で作品を製作する楽しさを気軽に体験してもらった。 ① 5 月 - 風鈴作り ② 7 月 - ランプシェード ③ 9 月 - 香炉（アロマポット） ④ 11 月 - 干支置物（戌） ⑤ 1 月 - ひな人形 ⑥ 3 月 - 鯉のぼり	陶芸中級者レベルの方のための講座。粘土でお皿やカップなど自由に製作した。
会場	工芸棟陶芸室	工芸棟陶芸室	工芸棟陶芸室
対象	小学生以上一般 小学生は保護者同伴	小学生以上一般 小学生は保護者同伴	小学生以上一般
定員	先着 30 人	先着 30 人	先着 30 人
募集開始	偶数月第 1 土曜 9:00 ～	奇数月第 1 土曜 9:00 ～	当日　9:00 ～
受講料	1,000 円　材料費込み	1,000 円　材料費込み	粘土 1kg1,000 円
講師	館職員、陶芸ボランティア	館職員、陶芸ボランティア	なし
参加人数	① 4/8、4/22　0 人 ② 6/10、6/24　12 人 ③ 8/12、8/26　15 人 ④ 10/14、10/28　5 人 ⑤ 12/9、12/23　4 人 ⑥ 2/10、2/24　4 人 合計　40 人	① 5/13　10 人 ② 7/8　4 人 ③ 9/9　3 人 ④ 11/11　5 人 ⑤ 1/13　4 人 ⑥ 3/10　7 人 合計　33 人	① 4/9　9 人 ② 5/14　12 人 ③ 6/11　11 人 ④ 7/9　9 人 ⑤ 8/13　8 人 ⑥ 9/10　7 人 ⑦ 10/15　7 人 ⑧ 11/12　4 人 ⑨ 1/14　6 人 ⑩ 2/11　7 人 ⑪ 3/11　9 人 合計　89 人

型染体験（テーブルセンター）

一閑張入門（講演会）

伝法・大淵古墳ミステリーツアー

各種講座教育普及事業							
種別	陶芸・土器作り			型染・染色	手漉き和紙	各種体験学習	
事業	古代人の暮らし～古代の知恵に学ぶ～			富士の型染体験	手作り和紙工芸		
名称	ミニミニ埴輪づくり	古代料理レストラン	親子どきやき体験	テーブルセンター	富士山のお札を刷ってみよう！	一閑張入門	布ぞうり作り体験
	7/17(月祝) 9:00 ～ 12:00	3/21（水祝） 9:00 ～ 14:00	11/23(木祝) 9:30 ～ 12:00	8/11（金祝） 9:30 ～ 12:30	3/25（日） 9:00 ～ 12:00	7/7,7/21,8/4 （各金）9:30 ～ 11:30 13:30 ～ 15:30	7/29(土) 9:00 ～ 11:30 計 1 回
内容	様々な体験を通して先人の知恵や工夫を学ぶ。 大昔の埴輪をモチーフにしてミニミニ埴輪を作り、簡単な窯で焼く。 弓ギリ式火おこし道具を使っての、古代の火おこし体験を行った。	竪穴住居に付随する古代のカマドを造ることから始め、出来立てのカマドでの炊飯や台付甕での古代肉汁作り、連結土坑による燻製、鹿肉の石焼など、縄文～古代のフルコースを再現した調理・食事体験をする。	様々な体験を通して先人の知恵や工夫を学ぶ。 古代の土器や装飾品をモチーフにしたペンダントを、粘土で成形・焼成。 弓ギリ式火おこし道具を使っての、古代の火おこし体験を行った。	郷土で育まれた型染文化の普及・継承を目的とし、染色の工程を中心に、1 日で作品を仕上げた。	富士市の地場産業である紙について学び、和紙を使った工芸作品の制作体験を通して、その製法や、和紙の美しさなどについての知識を深めた。 自分で漉いた紙に富士山の修験者が用いた版木を刷った。	現代社会において使用されなくなった一閑張を紙のまち富士市で多くの人に知ってもらうための体験講座。 竹篭に和紙を張り重ね、柿渋で仕上げた。 ①講義・制作 ②制作・ﾃﾞｻﾞｲﾝ ③仕上・塗装	近年室内履きとして人気の高い布ぞうりの制作を行なった。古着を利用し、わらじと同じ編み方を手軽に学ぶことができた。ぞうりを知らない世代にも日本の文化に触れる機会となることを目的とした。
会場	工芸棟染色室他	本館講座室・広見公園	工芸棟染色室他	工芸棟染色室	付属棟実習室	工芸棟染色室	旧稲垣家住宅
対象	年少園児から小学生とその保護者（4 年生以下は保護者同伴）	小学生以上一般 小学生は保護者同伴	年少園児から小学生とその保護者 4 年生以下は保護者同伴	小学生以上一般 （4 年生以下は保護者同伴）	小学生以上一般 （4 年生以下は保護者同伴）	18 歳以上 （高校生不可） ※ 3 回連続で出席できる方	小学生以上一般 （小学生は保護者同伴）
定員	先着 親子 15 組 (30 人)	先着 15 人	先着 親子 15 組程度 (35 人)	先着 20 人	先着　15 人	午前・午後各回 先着 16 人	先着 20 人
募集開始	7/8(土) 9:00 ～	3/6(火) 9:00 ～	11/11(土)　9:00 ～	7/29（土） 9:00 ～	3/6（火） 9:00 ～	6/23（金） 9:00 ～	7/22（土） 9:00 ～
受講料	150 円 / 人	700 円 / 人	50 円 / 人	1,000 円 材料費込み	500 円	午前　2,000 円 午後　2,000 円	400 円
講師	館職員	館職員	館職員	富士の型染グループ　藤壺	館職員	午前　館職員 午後　尾上瑞宝	ハートボックス
参加人数	30 人	雨天中止	31 人	20 人	8 人	午前　16 人 午後　16 人 合計　32 人	20 人

博物館の日（古代の弓矢体験）

博物館の日 2 月（薔薇のランプシェード）

博物館の日 3 月（黒ピカ土玉アクセサリー）

各種講座教育普及事業					
種別	旧稲垣家住宅体験事業				
事業名称	農家の食と年中行事				
	①落花生・里芋植付、柏餅作り	②七夕飾り作り・そうめん	③そばの種まき・ゆで落花生作り	④里芋収穫・月見団子作り	⑤そばの収穫・かまど飯
日時	5/5（日）9:00 ～ 13:00	7/1（土）9:00 ～ 13:00	8/20（日）9:00 ～ 13:00	9/10（日）9:00 ～ 13:00	10/29（日）9:00 ～ 13:00
内容	これまで単発でおこなってきたチャレンジ !! そばっ子、昔の年越し、みんなの家のお雑煮などの年中行事講座をまとめ、年間を通じて農家の暮らしや年中行事を体感できる講座として再編成したもの。 10 回連続参加枠と、単発参加枠を設け、さまざまな受講者が受講しやすいようにした（⑤・⑥・⑦は連続受講が条件）。				
	端午の節句にあわせて柏餅作りをおこなった。あわせて、以降の回に用いるために里芋および落花生の植え付けをおこなった。	手すき和紙の体験をおこない、七夕の短冊を作った。また、竹のはしと器を自ら作り、流しそうめんをおこなった。	11 月に予定されているそばうちのため、そばの種まきをおこなった。あわせて、5 月に植えつけた落花生を収穫し、当地でよく食されるゆで落花生をつくった。	お月見の時期にあわせて月見団子を作るとともに、5 月に植えつけた里芋を収穫し、塩茹でにした。	8 月に種を蒔いたそばの収穫をおこなうとともに、かまどでご飯を炊いて、富士川流域で食べられているカッチキ飯を作った。
会場	旧稲垣家住宅体験畑他				
対象	小学生とその保護者　⑤⑥⑦は連続受講できる方				
定員	連続受講枠　計 10 人　各回受講枠　計 10 人				
募集開始	4/23（日）9:00 ～	6/17（土）9:00 ～	8/6（日）9:00 ～	8/27（日）9:00 ～	⑤・⑥・⑦はまとめて 10/15（日）9:00 ～
受講料	連続受講枠　計 3,000 円 / 人　各回受講枠　300 円 / 人				
講師	館職員				
参加人数	26 人	21 人	21 人	21 人	21 人
	連続受講生 12 人、全 10 回合計　202 人				

七夕飾り作り・そうめん

そばの種まき･ゆで落花生作り（落花生収穫）

落花生・里芋植付、柏餅作り（新茶摘み）

里芋収穫・月見団子作り

各種講座教育普及事業					
種別	旧稲垣家住宅体験事業				
事業名称	農家の食と年中行事				
	⑥そばの脱穀・製粉、干芋作り	⑦そばうち	⑧もちつき、注連縄作り	⑨繭玉作り、小豆粥	⑩牡丹餅作り
日時	11/25（土） 9:00 ～ 13:00	11/26（日） 9:00 ～ 13:00	12/23（土祝） 9:00 ～ 13:00	1/8（月祝） 9:00 ～ 13:00	3/17（土） 9:00 ～ 13:00
内容	これまで単発でおこなってきたチャレンジ !! そばっ子、昔の年越し、みんなの家のお雑煮などの年中行事講座をまとめ、年間を通じて農家の暮らしや年中行事を体感できる講座として再編成したもの。 10 回連続参加枠と、単発参加枠を設け、さまざまな受講者が受講しやすいようにした（⑤・⑥・⑦は連続受講が条件）。				
	収穫後に乾燥させたそばの脱穀、製粉作業を、民具を用いておこなった。あわせて、体験畑で育てたサツマイモで切り干し（干し芋）を作った。	そば打ちの実演後、参加グループごとに実際にそばを打った。種まきから収穫、脱穀、製粉、そば打ちと、一連の体験を通じて、富士山麓の粉食文化を体感した。	年末の時期にあわせてリース型の注連縄を作った。また、かまどでもち米を蒸してもちつきをおこない、正月を迎える準備を体験した。	小正月の時期にあわせて、繭玉作りを行った。また、もちを入れた小豆粥を作る体験をおこなった。	春の彼岸にあわせて、きなこ、あんこ、青のりの牡丹餅を作った。この回については、静岡県民俗学会の会員による牡丹餅の民話についての講話も実施した。
会場	旧稲垣家住宅体験畑他				
対象	小学生とその保護者　⑤⑥⑦は連続受講できる方				
定員	連続受講枠　計 10 人　　各回受講枠　計 10 人				
募集開始	⑤・⑥・⑦はまとめて 10/15（日）　9:00 ～		12/8（金）　9:00 ～	12/24（日）　9:00 ～	3/4（日）　9:00 ～
受講料	連続受講枠　計 3,000 円 / 人　　各回受講枠　300 円 / 人				
講師	館職員				
参加人数	21 人	21 人	21 人	13 人	16 人
	連続受講生 12 人、全 10 回合計　202 人				

そばの収穫・かまど飯（芋掘り）

そば打ち

もちつき、注連縄作り（もちつき）

そばの脱穀・製粉、干芋作り（干芋作り）

もちつき、注連縄作り（注連縄作り）

繭玉作り、小豆粥（繭玉作り）

各種講座教育普及事業				
種別	旧稲垣家住宅体験事業			
事業名称	かまど飯を食べよう !!	戦時中の料理	稲垣家のお泊り体験	かやぶき農家の癒しのおんがく会
日時	① 6/4（日） ② 9/3（日） 11:00 ～ 13:00	8/9(水) 10:00 ～ 13:00	10/14(土)17:00 ～ 10/15(日)9:00	毎月第 3 日曜日（4・8 月は休演） 13:30 ～ 15:30 5 月は 10:30 ～・11:30 ～の 2 回、9 月は 18:00 ～
内容	電気のない時代にどのような道具を使いどんな生活をしていたか学ぶ体験講座。 かまどで御飯炊きと味噌汁をつくり、食事体験を行った。	小学生を対象に、戦争体験者から戦時中の話を聞き、お昼に向け、かまどでさつまいも入り麦ご飯と水団を作り食事体験を行った。	旧稲垣家住宅にて、電気ガスのなかった時代の暮らしを体験したり、日本の伝統行事を学んだ。	旧稲垣家住宅（県指定有形文化財）を活用し、文化財と音楽を融合させた「知的レクリエーション」体験の場として市民に提供した。 平成 29 年度 3 月で 65 回を数え、毎回多くの観客が来場する人気イベントである。 5/21（土）は博物館まつりと同日開催
会場	旧稲垣家住宅	旧稲垣家住宅	旧稲垣家住宅	旧稲垣家住宅
対象	①②各回　先着 15 人	先着 10 人	先着 15 人程度	特になし
定員	一般	3 年生以上の小学生	小学生とその保護者	一般
募集開始	①②各回とも 5/28（日）9:00 ～	7/30（日） 9:00 ～	往復はがき抽選 9/10 ～ 9/30 消印有効	なし
受講料	100 円	300 円	1000 円	無料
講師	館職員	館職員 富士の語りべの会・橋口傑氏	館職員	市内近隣在住の演奏者
参加人数	① 6/4（日）　12 人 ② 9/3（日）　13 人 ①②合計　　25 人	7 人	13 人	出演日・出演団体　内容　人数 ① 4/16　富士ミューズフルートアンサンブル　フルートアンサンブルほか　137 人 ② 5/21　富士木遣愛好会　木遣り・和太鼓　250 人 5/21　元吉原ウインドアンサンブル　管楽器アンサンブル　395 人 ③ 6/18　藤の会　民謡　唄・三味線ほか　54 人 ④ 7/16　五十雀＆チルコロ・ピアチェーレ　フォークソング＆マンドリン　92 人 ⑤ 9/17　Ｋａｇｅ－Ｂｏｓｈｉ　影絵　98 人 ⑥ 10/15　アンサンブルＯＣＬ　クラリネットアンサンブル　72 人 ⑦ 11/19　ＭＡＵハンドベルリンガーズ、長井もと＆三改木多恵子ジャズライブ　ハンドベル・ボーカルとジャズピアノのコンサート　100 人 ⑧ 12/17 フジ・ゾリステン　クラシックコンサート　90 人 ⑨ 1/21　コカリナサークルハーモニー　コカリナコンサート　94 人 ⑩ 2/18　鵜無ケ淵神明宮御神楽保存会、錦心流琵琶全国一水会静岡支部、生田流箏曲・吉野会・倭心会　鵜無ケ淵神明宮の御神楽、琵琶演奏、箏と尺八演奏　122 人 ⑪ 3/18　フジヤマアンサンブル＆小鳥コーダーアンサンブル　リコーダーアンサンブル　118 人 合計 1,622 人

ボーカルとジャズピアノのコンサート

民謡・唄・三味線コンサート

鵜無ヶ淵神明宮の御神楽

各種講座教育普及事業																
種別	各種体験学習															
事業名称	博物館の日															
内容	毎月第 1 日曜日を「博物館の日」と位置づけ、事前申し込み無しにさまざまな体験メニューを提供する 1 日とし、博物館に親しんでいただく契機とする。															
実施状況	体験内容	定員（人）	受講料（円）	4/2	5/7	6/4	7/2	8/6	9/3	10/1	11/5	12/10	2/4	3/4	合計	会場
	博物館クイズ	なし	無料	17	11	14	12	20	10	2	11	6	29	15	147	本館
	手漉きはがき作り	なし	50	15	14	11	31	52	40	14	17	34	33	25	286	染色室前
	型染しおり作り	なし	50	6	14	7	36	60	30	27	23	30	25	31	289	染色室
	火おこし体験	なし	無料	18	15	12	14	29	24	12	9	27	26	19	205	陶芸室前
	古代の弓矢体験	なし	無料	23	15	8	31	35	32	23	27	28	39	24	285	染色室前
	キューブキャンドル作り	20	300	17	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	17	陶芸室
	七宝作り	20	500	—	18	—	—	—	—	23	—	—	—	—	41	陶芸室
	ピカピカ泥だんご作り	20	100	—	—	—	—	25	—	—	—	—	—	—	25	陶芸室
	勾玉作り	20	300	—	19	—	—	27	—	—	—	—	—	—	46	陶芸室
	レジンアクセサリー作り	20	500	—	—	—	—	—	—	—	15	—	—	—	15	陶芸室
	草木染ハンカチ作り	20	300	22	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	22	陶芸室
	和紙で作る薔薇のランプシェード	20	300	—	—	—	—	—	—	—	—	—	22	—	22	陶芸室
	本藍染めハンカチづくり	20	400	—	—	—	—	—	35	—	—	—	—	—	35	陶芸室
	立体プラバンアクセサリー作り	20	200	—	—	22	—	—	—	—	—	—	—	—	22	陶芸室
	ガラスのペンダント作り	20	500	—	—	—	—	—	20	—	—	—	—	—	20	陶芸室
	ディッピングキャンドル作り	20	200	—	—	—	—	—	—	—	—	22	—	—	22	陶芸室
	折染め団扇作り	20	200	—	—	—	31	—	—	—	—	—	—	—	31	陶芸室
	張り子ダルマ作り	20	300	—	—	—	—	—	—	—	—	—	26	—	26	陶芸室
	鋳造ペンダント作り	20	400	—	—	—	—	—	—	19	—	—	—	—	19	陶芸室
	蚊取り線香作り	20	100	—	—	—	24	—	—	—	—	—	—	—	24	陶芸室
	万華鏡作り	20	300	—	—	15		—	—	—	8	—	—	—	23	陶芸室
	ろうけつ染めハンカチ作り	20	500	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	25	25	陶芸室
	黒ピカ土玉アクセサリー	20	200	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	22	22	陶芸室
	竹のおもちゃ作り	20	無料	—	—	—	—	28	—	—	—	—	—	—	28	陶芸室
	スノードーム作り	20	500	—	—	—	—	—	—	—	—	21	—	—	21	陶芸室
	子供の成長記録（手形漉）	15	無料	14	—	4	—	—	—	—	—	—	—	—	18	実習室
	楮の繊維によるしおり	15	100	—	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7	実習室
	祝儀袋	15	100	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	3	実習室
	いぶし竹うちわ	15	500	—	—	6	—	—	—	—	—	—	—	—	6	実習室
	和紙ネックレス	15	500	—	—	—	6	—	—	—	—	—	—	—	6	実習室
	和紙原料の面白実験	15	100	—	—	—	13	—	—	—	—	—	—	—	13	実習室
	預金箱	15	500	—	—	—	—	18	—	—	—	—	—	—	18	実習室
	ランプシェード	15	1500	—	—	—	—	—	6	—	—	—	—	—	6	実習室
	合計			132	113	102	198	294	197	120	110	168	200	161	1795	
対象	広く一般															
受付方法	当日受付															

博物館の日 8 月（竹のおもちゃ作り）

博物館の日 10 月（鋳造ペンダント）

博物館の日 11 月（万華鏡作り）

各種講座教育普及事業			
種別	利用者団体との共同事業	共同事業	共同事業
事業名称	博物館まつり	富士山ネットワーク推進委員会活動	明治維新 150 周年記念 富士・沼津・三島 3 市歴史講座
日時	5/21（日）　10:00 ～ 15:00	通年（コンテスト等は、夏休み期間） ＰＲイベント① 6/26（日）、② 9/25（日）、③ 10/9（日）	3/17（土）14:00 ～ 16:00
内容	広見公園のバラの開花時期に併せ、博物館、テーマ展や屋外展示等の案内・説明、各団体による実演、体験、バザー等 【自主イベント（下記網掛け）】 ・展示解説（常設展示） ・探検ラリー ・癒しのおんがく会 ・富士山おりがみカブト・紙トンボ作り ※癒しのおんがく会 同日開催	富士山ネットワーク推進委員会は、平成 5 年に富士山周辺の 5 つの博物館・園によって組織され、現在下記の 7 館園によって運営されている。現在までに富士山をテーマとした企画展の各館同時開催や、コンテストなどを通して富士山に関する情報発信を行い、相互に連携をとってきた。ネットワーク発足 25 年目となった平成 29 年度は、下記の通り各事業を行った。 【内容】 ・富士山ぐるりんコンテスト（応募者 61 人・受賞者 29 人） ・PR ｲﾍﾞﾝﾄでの体験講座（富士山ぼうし折り紙） ・コンテスト受賞作品巡回展（1 月中旬～ 2 月中旬） 【加盟館 (当館を除く)】 裾野市立富士山資料館、奇石博物館、富士サファリパーク、富士山樹空の森、富士山こどもの国、静岡県富士山世界遺産センター	富士・沼津・三島三市博物館連絡協議会が共通テーマで開催する連続講座。 ①三島会場 「伊豆地域の近代化と旧韮山代官所」 講師・今村直樹氏（熊本大学永青文庫研究センター准教授） 日時：1/28（日）14:00 ～ 16:00 定員：55 人 申込：三島市郷土資料館へ電話か来館 ②沼津会場 「幕末維新の戦乱と駿河・伊豆の民衆」 講師：樋口雄彦氏（国立歴史民俗博物館・総合研究大学院大学教授） 日時：2/24（土）14:00 ～ 16:00 定員：300 人 申込：三島市郷土資料館へ電話か来館 ③富士会場 講師：杉山容一氏（東北学院大学・東北文化研究所客員研究員） 日時：3/17（土）14:00 ～ 16:00 定員 40 人　申込：当館へ電話か来館
会場	本館・工芸棟・歴民・広見公園	各加盟館園等で開催	下記参照
対象	広く一般	広く一般	広く一般
受講料	体験ブースによって異なる	無料	無料
参加人数	本館入館者 989 人 探検ラリー 296 人 ギャラリートーク（2 回） 80 人 葉彩画（しおり作り） 304 人 富士手漉和紙同好会 300 人 富士山スズタケ工芸同好会 471 人 型染グループ 587 人 禮文窯 880 人 陶遊会 854 人 駿河郷土史研究会 301 人 おんがく会（太鼓、木遣） 250 人 おんがく会（元吉原ｳｲﾝﾄﾞｱﾝｻﾝﾌﾞﾙ） 395 人 フジレールクラブ 312 人 埋蔵文化財調査室 202 人 ピュアグリーン 570 人 木彫り「絆」 686 人 アートスペース富士和紙 787 人 アマチュア無線クラブ 131 人 こどもの国（工作体験） 富士山資料館（勾玉づくり） 奇石博物館（宝石さがし） 142 人 吉原工業高校 86 人 博物館ボランティア 306 人 合計 8929 人	6/25　富士山樹空の森 15 人 7/9　富士市交流プラザ 40 人 8/5　富士山こどもの国 80 人 10/15　奇石博物館 96 人 11/25・26　ふじのくに アートクラフトフェア 46 人 3/24　静岡県富士山 世界遺産センター 174 人 合計 451 人	①三島（三島市民生涯学習センター 5 階研修室） 49 人 ②沼津（ぬまづ健康福祉プラザ・サンウェルぬまづ 4 階多目的ホール） 115 人 ③富士（当館講座室） 45 人 合計 209 人

各種講座教育普及事業				
種別	参加事業			各種体験事業
事業名称	吉原宿宿場まつり	富士山紙フェア	なんでも富士山 2018	たんけん！はくぶつかん！ ～博物館の裏側お見せします！～
日時	10/8(日) 10:30 ～ 16:00 頃	10/28(土)、29（日） 10:00 ～ 16：00	2/17(土) ～ 18(日) 10:00 ～ 15:00	11/18(土) 10:00 ～ 14:00
内容	主催：吉原宿宿場まつり実行委員会 【参加内容】 ・展示「吉原宿と旅びとの道具」(観覧無料) 吉原宿関連史料として脇本陣の宿帳や雛道具、近世に急増した旅行者が使用した旅道具を展示し、「むかしの吉原宿」を感じてもらえるような構成とした。 ・体験「富士山おりがみカブト作り体験」(無料) 「手ぐるま (江戸時代のヨーヨー) 作り体験」(100 円) ・オリジナルグッズ・図録販売	主催：富士山紙フェア実行委員会 【参加内容】 「紙のチャレンジ工房」コーナーに参加 ・紙の歴史パネル展示 ・富士山おりがみカブト作成体験 ・オリジナルグッズ販売	主催：ふじさんめっせ 【参加内容】 「富士山学びのコーナー」に参加 ・富士山かぐや姫ミュージアムイメージキャラクター愛称募集・オリジナルグッズ販売 ※ 2/17(土) のみ参加	従来の夏休み実験室を見直し、博物館の仕事や収蔵庫を見学してもらうイベントとして開催した。 【内容】 収蔵庫たんけんラリー 火縄銃を持ってみよう 土器接合体験・土器を持ってみよう 七輪でお餅を焼いてみよう 缶バッジ作り
会場	吉原商店街店舗内	富士市産業交流展示場 ふじさんめっせ	富士市産業交流展示場 ふじさんめっせ	外部収蔵庫
対象	広く一般			
受講料	100 円（手ぐるま作り）	無料	無料	無料
参加人数	入場者数　404 人 おりがみ　158 人 手車　42 人 延べ人数　604 人	10/28(土)　300 人 10/29(日)　187 人 計　487 人	集計なし	大人　19 人 小人　16 人 合計　35 人

博物館まつり（太鼓・木遣り）

たんけん！はくぶつかん！

博物館まつり（フライヤー）

<table>
<tr><th colspan="6">調査研究</th></tr>
<tr><td>種別</td><td colspan="5">六所家整理調査</td></tr>
<tr><td>事業名称</td><td colspan="5">六所家総合調査事業</td></tr>
<tr><td>沿革</td><td colspan="5">六所家は富士市今泉八丁目に位置する旧家で、明治政府による神仏分離政策によって還俗するまでは富士山東泉院という寺院を営んでいた。平成 18 年 6 月、六所家当主の六所五郎・利子夫妻により、東泉院関係資料を含む約 4 万点以上の六所家の資料が富士市に寄贈された。富士市では、郷土の歴史・文化を解明する貴重な資料群である六所家の資料を活用するため、市立博物館にて平成 19 年度、六所家旧蔵資料基礎整理委員会を組織し、平成 20 年度に整理作業を行ってきたが、資料整理に留まらず、学術的な面からも明らかにしていくため、新たに総合調査委員会を組織し、漸次その成果を情報発信している。</td></tr>
<tr><td>概要</td><td colspan="5">六所家旧蔵資料は、大きく江戸時代以前（中世・近世）の富士山東泉院に関する資料群（以下、東泉院関係資料とする）と、明治時代以降（近代）の六所家に関わる資料群（以下、六所家関係資料とする）に分けられ、東泉院関係資料は、さらに中世・近世の文書類、聖教類、書画の三種類に大別できる。本資料群は、地域の歴史や文化を解明する多くの材料を秘めた資料群で、こうした資料がまとまって発見されたことは学術的にも大きな価値をもち、以下の点で有意義な資料といえる。
①現在まで詳細な研究がされていない富士山東泉院という密教寺院の寺院史の解明。
②東泉院が支配していた朱印領に含まれる市域の村々の支配の実態、およびその歴史。
③寺院社会史研究における中央の寺院と、東泉院のような地方の寺院との関係性を検討する事例。
④近代以降の六所家の生活の記録。
六所家旧蔵資料の整理を開始して、当初の予想を超える多彩な内容をもった資料群であることがわかってきた。専門的な分野の知識をもとにした各種調査の必要性が増している。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">委員会</td><td>委員会</td><td>日時</td><td>内容</td><td>委員</td><td>会場</td></tr>
<tr><td>第 1 回六所家総合調査委員会</td><td>8/18（金）</td><td>28 年度調査報告・29 年度調査計画、報告書最終巻について</td><td>委員 6 人</td><td>講座室</td></tr>
<tr><td>第 2 回六所家総合調査委員会</td><td>3/20（火）</td><td>29 年度調査成果報告、30 年度調査計画</td><td>委員 6 人</td><td>講座室</td></tr>
<tr><td rowspan="7">特別調査等</td><td>調査分野</td><td>日時</td><td>内容</td><td>委員</td><td>会場</td></tr>
<tr><td>古文書特別調査①</td><td>6 月 28 日～ 30 日</td><td>報告書に関わる調査・打合せ</td><td>菊池邦彦委員</td><td>学芸室</td></tr>
<tr><td>古文書特別調査②</td><td>8 月 4 日～ 5 日</td><td>報告書に関わる調査・打合せ</td><td>菊池邦彦委員</td><td>学芸室</td></tr>
<tr><td>古文書特別調査③</td><td>9 月 12 日～ 15 日</td><td>報告書に関わる調査・打合せ</td><td>菊池邦彦委員</td><td>学芸室</td></tr>
<tr><td>神道資料調査①</td><td>9 月 15 日～ 17 日</td><td>東泉院聖教の資料調査</td><td rowspan="3">富士山かぐや姫ミュージアム・東京大学史料編纂所</td><td>講座室</td></tr>
<tr><td>神道資料調査②</td><td>12 月 2 日～ 3 日</td><td>東泉院聖教の資料調査</td><td>講座室</td></tr>
<tr><td>神道資料調査③</td><td>平成 30 年 2 月 17 日</td><td>東泉院聖教の資料調査</td><td>講座室</td></tr>
<tr><td>調査体制</td><td colspan="2">【六所家総合調査事業調査体制】
調査委員会 (調査委員 6 名)
埋蔵文化財、建造物・庭園、歴史、美術・書画、民俗各担当委員（一人の委員が兼務する担当もあり。）</td><td colspan="3">【調査員等　古文書・美術】
古文書 1 人× 243 日（調査員）、 古文書 1 人×　50 日（調査員）
古文書 1 人× 14 日 / 月× 12 ヶ月（調査補助員）
聖教　2 人× 42 日　（資料整理員）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">刊行物</td><td colspan="2">タイトル</td><td colspan="2">内容</td><td>発行日</td></tr>
<tr><td colspan="2">「六所家総合調査報告書古文書③」</td><td colspan="2">古文書②に続く近世期を中心とする古文書目録。</td><td>2018/3/31</td></tr>
<tr><td colspan="2">六所家総合調査だより特別号②「東泉院の神道資料」</td><td colspan="2">東京大学史料編纂所における 2017 年度一般共同研究「六所家史料旧東泉院聖教の復原的研究と公開」による研究成果の一部を紹介。</td><td>2018/3/31</td></tr>
</table>

（3） 学校等への参加協力事業

小中学校への学習支援

◇ **日　　時**　小中学校からの依頼により随時実施

◇ **会　　場**　市内の小・中学校、富士市立博物館本館、付属実習棟など

◇ **講　　師**　博物館職員

◇ **内　　容**　展示見学や紙すき体験や縄文土器作りなどの体験学習、実物資料等を用い講話する出前授業、資料の貸出により、小中学校の総合的な学習や社会科、生活科の学習を支援する。

◇**実施状況**　以下のとおり

①見学

（小学校）

	学校名	学　年	人　数	教　科	単　元	日　付
1	富士第一小学校	6	105　人	学校行事	春の遠足	4 月 21 日
2	三島市立北小学校	2	142　人	生活	自然と親しむ	4 月 27 日
3	富士宮市立貴船小学校	6	85　人	社会	大昔のくらし	4 月 28 日
4	吉原小学校	4	101　人	学校行事	春の遠足	4 月 28 日
5	吉原小学校	6	82　人	学校行事	春の遠足	4 月 28 日
6	原田小学校	6	61　人	社会	大昔のくらしをさぐろう	4 月 28 日
7	鷹岡小学校	6	104　人	社会	歴史探検に出かけよう	4 月 28 日
8	伝法小学校	2	110　人	学校行事	春の遠足	4 月 28 日
9	伝法小学校	3	127　人	学校行事	春の遠足	4 月 28 日
10	大淵第一小学校	6	104　人	学校行事	春の遠足	4 月 28 日
11	丘小学校	6	136　人	社会	富士市の歴史に興味をもとう	5 月 1 日
12	富士見台小学校	3	62　人	学校行事	春の遠足	5 月 1 日
13	吉原林間学園	6	5　人	社会	国づくりでの歩み	5 月 16 日
14	富士宮市立大宮小学校	6	76　人	社会	大昔のくらし	5 月 18 日
15	大淵第二小学校	6	4　人	社会	村から国へ	6 月 20 日
16	広見小学校	2	32　人	生活	町探検へ行こう	7 月 12 日
17	原田小学校	3	56　人	社会	わたしたちの市の様子	7 月 21 日
18	元吉原小学校	3	42　人	総合学習	富士市の昔を知ろう	9 月 5 日
19	富士川第一小学校	4	53　人	社会	昔から今へと続くまちづくり	9 月 7 日
20	須津小学校	3	118　人	社会	変わるわたしたちのくらし	9 月 8 日
21	富士川第一小学校	5～6	14　人	クラブ	富士川第一小学校歴史クラブ	9 月 15 日
22	岩松北小学校	3	126　人	社会	―	9 月 28 日
23	南アルプス市立豊小学校	4	43　人	社会	様々な地域について	10 月 13 日
24	鷹岡小学校	4	92　人	社会		10 月 26 日
25	富士第一小学校	3	124　人	社会	変わるわたしたちのくらし	11 月 2 日
26	富士川第一小学校	4	53　人	社会	昔から今へと続くまちづくり	11 月 10 日
27	神戸小学校	3	31　人	社会	昔のくらし	11 月 17 日
28	吉原小学校	3	88　人	社会	変わるわたしたちのくらし	12 月 14 日
29	田子浦小学校	3	131　人	社会	変わるわたしたちのくらし	1 月 17 日
30	吉原林間学園	3	7　人	社会	昔のくらし	1 月 30 日
31	大淵第一小学校	3	111　人	社会	変わるわたしたちのくらし	2 月 1 日
32	富士川第二小学校	3	63　人	社会	昔の道具とくらし	2 月 2 日
33	吉永第一小学校	3	53　人	社会	昔の道具とくらし	2 月 6 日
34	富士中央小学校	3	82　人	社会	昔の人々のくらし	2 月 8 日
35	岩松小学校	3	89　人	社会	昔の道具とくらし	2 月 9 日
36	広見小学校	3	104　人	社会	昔の道具とくらし	2 月 14 日

（中学校・高校・大学）

	学校名	学　年	人　数	教　科	単　元	日　付
1	吉原第一中学校	養級	21　人	総合学習	―	4 月 21 日
2	田子浦中学校	養級	6　人	生活	ふれあい遠足	4 月 21 日
3	沼津市立沼津第一中学校	養級	9　人	総合学習	富士山とかぐや姫について知ろう	10 月 19 日
4	富士特別支援学校	1～2	9　人	生活	富士山の伝説について調査せよ	11 月 8 日
5	大淵中学校（吉原林間学園）	1～3	5　人	美術	―	11 月 24 日
6	富士宮第二中学校	1	4　人	総合学習	富士山の歴史	2 月 1 日

（幼稚園・保育園）

	学校名	学　年	人　数	教　科	単　元	日　付
1	蒲原聖母幼稚園	年少～年長	60　人	―	―	11 月 1 日

（その他施設）

	学校名	学　年	人　数	教　科		日　付
1	広見小学区通学合宿	1～6	40　人	課外	―	7 月 10 日
2	富士見台まちづくりセンター	年少～2	12　人	-	―	7 月 15 日
3	NPO 法人　子ども未来	1～6	70　人	-	―	2 月 3 日

②体験学習

（小学校）

	学校名	学　年	人　数	体験内容	教　科	場　所	日　付
1	原田小学校	6	61　人	火おこし	社会	学校	4 月 14 日
2	富士川第二小学校	6	58　人	火おこし・勾玉作り	社会	学校	4 月 26 日
3	富士宮市立貴船小学校	6	85　人	火おこし・勾玉作り	社会	博物館	4 月 28 日
4	吉原林間学園	6	5　人	火おこし	社会	博物館	5 月 16 日
5	富士宮市立大宮小学校	6	76　人	火おこし・土器作り・かまど	社会	博物館	5 月 18 日
6	鷹岡小学校	6	106　人	土器作り	社会	学校	6 月 8 日
7	大淵第二小学校	6	4　人	火おこし	社会	博物館	6 月 20 日
8	鷹岡小学校	6	106　人	火おこし・土器焼き・縄文料理	社会	学校	7 月 11 日
9	青葉台小学校	6	78　人	土器作り	総合学習	学校	7 月 20 日
10	青葉台小学校	6	78　人	勾玉作り・火おこし 古代米調理・土器焼き	総合学習	学校	9 月 21 日
11	岩松北小学校	3	126　人	かまど飯体験		博物館	9 月 28 日
12	富士川第二小学校	3	98　人	手すきﾊｶﾞｷ体験	社会	学校	10 月 11 日
13	東小学校	3	15　人	陶芸　湯飲み茶碗の作り方	総合学習	学校	10 月 12 日
14	富士第一小学校	3	124　人	かまど飯体験	社会	博物館	11 月 2 日
15	神戸小学校	3	31　人	かまど飯体験	社会	博物館	11 月 17 日
16	吉原小学校	3	88　人	かまど飯体験	社会	博物館	12 月 14 日
17	田子浦小学校	3	131　人	かまど飯体験・紙漉き体験	社会	博物館	1 月 17 日
18	伝法小学校	3	128　人	七輪体験	社会	学校	1 月 19 日
19	大淵第一小学校	3	111　人	囲炉裏点火、火吹き体験	社会	博物館	2 月 1 日
20	富士川第二小学校	3	63　人	囲炉裏点火、紙漉き体験	社会	博物館	2 月 2 日
21	吉永第一小学校	3	53　人	囲炉裏点火	社会	博物館	2 月 6 日
22	富士中央小学校	3	82　人	囲炉裏点火	社会	博物館	2 月 8 日
23	岩松小学校	3	89　人	かまど飯体験	社会	博物館	2 月 9 日

（中学校）

	学校名	学　年	人　数	体験内容	教　科	場　所	日　付
1	吉原第一中学校	特別支援	21　人	陶芸	総合学習	陶芸室	4 月 21 日
2	田子浦中学校	特別支援	6　人	勾玉作り	生活	工芸室	4 月 21 日
3	富士特別支援学校	3	7　人	藍染め体験	生活	陶芸室・染色室	6 月 30 日
4	岳陽中学校	2	5　人	職場体験	総合学習	博物館	11 月 16・17 日

（その他施設・団体）

	施設名	対　象	人　数	体験内容	場　所	日　付
1	青葉台まちづくりセンター	小４～６	11　人	万華鏡作り	施設	5 月 13 日
2	広見まちづくりセンター	小１～６	40　人	かまど体験	博物館	6 月 10 日
3	田子浦まちづくりセンター	小４～６	20　人	かまど体験	博物館	6 月 17 日
4	富士駅北まちづくりセンター	小４～６	27　人	ミニミニ埴輪づくり	施設	6 月 17 日
5	生活介護事業所でらーと	-	20　人	陶芸体験	施設	6 月 22 日
6	富士町寿会	-	12　人	万華鏡作り	施設	7 月 12 日
7	富士見台まちづくりセンター	年少～小２	12　人	勾玉作り	博物館	7 月 15 日
8	ボーイスカウト富士第２団	小３～５	9　人	エコバック染め	博物館	7 月 16 日

	施設名	対　象	人　数	体験内容	場　所	日　付
9	富士見台まちづくりセンター	小４～６	24　人	菊花線香作り	施設	7 月 26 日
10	東名電機　㈱	-	10　人	万華鏡作り	施設	7 月 28 日
11	吉永北まちづくりセンター	小１～６	17　人	勾玉作り	施設	8 月 18 日
12	鷹岡まちづくりセンター	小１～６	20　人	草木染	施設	8 月 23 日
13	生活介護事業所でらーと	-	20　人	キャンドル作り	施設	8 月 24 日
14	生活介護事業所でらーと	小１～６	20　人	紙すき体験	施設	9 月 7 日
15	天間地区まちづくり協議会（福祉推進会）	一般	20　人	折り紙　富士山ぼうし	南区公会堂	10 月 12 日
16	天間地区まちづくり協議会（福祉推進会）	一般	20　人	折り紙　富士山ぼうし	北１区公会堂	10 月 18 日
17	天間地区まちづくり協議会（福祉推進会）	一般	20　人	折り紙　富士山ぼうし	田代区公会堂	10 月 18 日
18	天間地区まちづくり協議会（福祉推進会）	一般	20　人	折り紙　富士山ぼうし	川坂区公会堂	10 月 24 日
19	天間地区まちづくり協議会（福祉推進会）	一般	20　人	折り紙　富士山ぼうし	北２区公会堂	10 月 25 日
20	天間地区まちづくり協議会（福祉推進会）	一般	20　人	折り紙　富士山ぼうし	天間荘	10 月 27 日
21	天間地区まちづくり協議会（福祉推進会）	一般	20　人	折り紙　富士山ぼうし	東町内会公会堂	11 月 14 日
22	天間地区まちづくり協議会（福祉推進会）	一般	20　人	折り紙　富士山ぼうし	まほろば	11 月 21 日
23	天間地区まちづくり協議会（福祉推進会）	一般	20　人	折り紙　富士山ぼうし	ケアハウス富士の里	11 月 22 日
24	富士市青少年相談センター	小４～中３	18　人	陶芸体験	博物館	1 月 16 日
25	NPO 法人　子ども未来	小１～小６	70　人	かまど飯体験	博物館	2 月 3 日
26	岩松北まちづくりセンター	小１～小６	30　人	手すきﾊｶﾞｷ体験	施設	3 月 3 日
27	伝法まちづくりセンター	小４～小６	40　人	稲垣家かまど・火おこし体験	博物館	3 月 27 日
28	富士山発達スクール	一般	11　人	陶芸体験	博物館	3 月 30 日

③出前講座、講演会など

（小学校）

	学校名	学　年	人　数	講座内容	教　科	日　付
1	原田小学校	6	61　人	原田地区の歴史	社会	4 月 14 日
2	富士川第二小学校	3	98　人	かぐや姫伝説と富士山・富士市の関わり	総合学習	10 月 12 日
3	今泉小学校	3	108　人	昔の道具とくらし	社会	1 月 31 日
4	富士第二小学校	3	98　人	昔の道具とくらし	社会	2 月 1 日
5	岩松小学校	3	89　人	昔の道具とくらし	社会	2 月 7 日
6	富士中央小学校	3	82　人	昔の人々が使っていた道具	社会	2 月 20 日
7	広見小学校	3	104　人	昔の道具とくらし	社会	2 月 22 日
8	大淵第一小学校	3	111　人	昔の道具とくらし	社会	2 月 28 日

（中学校）

	学校名	学　年	人　数	教　科	単　元	日　付
1	県立富士東高等学校	1～2	20　人	職業講話	―	10 月 20 日
2	特別支援学校中学部	1～2	9　人	富士山の成り立ち	生活	10 月 25 日

（その他施設・団体）

	施設名	人　数	講座内容	日　付
1	富士常葉大学	28　人	市民大学ミニカレッジ前期　「防災講座」	5 月 25 日
2	元吉原まちづくりセンター	26　人	成人講座おもしろ郷土史　「富士山信仰」	6 月 14 日
3	元吉原まちづくりセンター	20　人	成人講座おもしろ郷土史　「元吉原の古代史」	7 月 12 日
4	吉原まちづくりセンター	32　人	成人講座吉原歴史探訪　「鈴木香峰について」	7 月 13 日

	施設名	人　数	講座内容	日　付
5	原田まちづくりセンター	20　人	成人講座　「博物館見学」	9 月 8 日
6	伝法まちづくりセンター	25　人	伝法ふる里歴史講座「伝法地区の歴史概観」	9 月 22 日
7	原田まちづくりセンター	20　人	成人講座　「史跡めぐり」	9 月 29 日
8	原田まちづくりセンター	20　人	成人講座　「かぐや姫研究最前線」	10 月 6 日
9	伝法まちづくりセンター	25　人	伝法ふる里歴史講座「伝法地区の古墳について」	10 月 27 日
10	天間まちづくり協議会	80　人	歴史講座「天間地区のれきしについて」	11 月 11 日
11	伝法まちづくりセンター	25　人	伝法ふる里歴史講座「ミュージアム見学」	11 月 24 日
12	ピアゴ	52　人	展示協力にともなう展示解説	12 月 10 日
13	伝法まちづくりセンター	25　人	伝法ふる里歴史講座「富知六所浅間神社と富士山信仰」	1 月 26 日
14	古谿荘に親しむ会（富士川ふれあいホール）	40　人	古谿荘勉強会「出版文化を知る」	1 月 27 日
15	伝法まちづくりセンター	25　人	伝法ふる里歴史講座「実地学習」	2 月 23 日
16	富士市保護司会（函南町）	40　人	かぐや姫伝説	3 月 4 日

④資料の貸出（学校関係のみ）

（小学校）

学校名	学　年	人　数	資　　料　　名	点　数	教　科	日　付
吉原小学校	6 年	82　人	黒曜石製　石鏃　（原氏資料）	30	社会	4 月 22 日
〃	6 年	〃　人	大平遺跡出土　縄文土器	16	〃	4 月 22 日
〃	6 年	〃　人	旧富士川町出土　弥生土器片	1	〃	4 月 22 日
吉原小学校	6 年	80　人	江尾出土―弥生壺	1	社会	5 月 4 日
〃	6 年	〃　人	中里 K-99 出土　堤瓶	1	〃	5 月 4 日
〃	6 年	〃　人	東平 16・SB3　P-034（墨書）	1	〃	5 月 4 日
〃	6 年	〃　人	東平 16・SB01　P-002（墨書）	1	〃	5 月 4 日
〃	6 年	〃　人	実円寺西 1 号墳出土須恵器№ 54	1	〃	5 月 4 日
〃	6 年	〃　人	伊勢塚古墳出土　埴輪№ 118	1	〃	5 月 4 日
〃	6 年	〃　人	山王遺跡出土　石斧	4	〃	5 月 4 日
〃	6 年	〃　人	破魔射場出土　石器	6	〃	5 月 4 日
〃	6 年	〃　人	レプリカ埴輪セット	1	〃	5 月 4 日
今泉小学校	6 年	116　人	実円寺西 1 号墳出土　須恵器	1	社会	5 月 2 日
〃	6 年	〃　人	伊勢塚古墳出土　埴輪	1	〃	5 月 2 日
〃	6 年	〃　人	中里 K-99　出土　須恵器	1	〃	5 月 2 日
富士第二小学校	3 年	98　人	VTR「紙ができるまで」	1	社会	10 月 6 日
〃	3 年	〃　人	VTR「紙漉きの技術」	1	〃	10 月 6 日
富士第二小学校	3 年	98　人	YTR「紙ができるまで」	1	社会	10 月 5 日
富士第二小学校	3 年	〃　人	VTR「紙漉きの技術」	1	〃	10 月 5 日
岩松北小学校	4 年	91　人	火おこし道具	6	社会	9 月 13 日
岩松北小学校	4 年	126　人	洗濯板（体験用）	1	社会	9 月 21 日
岩松北小学校	3 年	31　人	千歯こき	1	総合	10 月 7 日
〃	3 年	〃　人	足踏み脱穀機	1	〃	10 月 7 日

学校名	学　年	人　数	資　料　名	点　数	教　科	日　付
鷹岡小学校	２年	108　人	みそだる	1	国語	11 月２日
〃	２年	〃　人	雪みの	1	〃	11 月２日
丘小学校	３年	147　人	電話・かま・おひつ・おひつ入れ	4	社会	２月７日
〃	３年	〃　人	行灯・炊飯器・からかさ・こたつ	4	〃	２月７日
〃	３年	〃　人	火のし・炭火アイロン・洗濯板・たらい	4	〃	２月７日
〃	３年	〃　人	手回し洗濯器	1	〃	２月７日

（幼稚園・保育園）

学校名	学　年	人　数	資　料　名	点　数	教　科	日　付
富士川第一幼稚園	―	―　人	青い目の人形メリー	1	―	９月 14 日

（４）　富士市立博物館ボランティアの活動

29 年度の主な活動実績

平成 29 年 4 月の会員数 27 人。平成 29 年度には延べ 548 人が活動を行った。

月	内　　容	人数
4	博物館の日	4
	ボランティア研修（土器ペンダント製作）	9
	陶芸室自由開放日	1
	中学校来館対応（陶芸体験）	3
	ボランティア月例会	17
	小学校出張講座（勾玉作り・火おこし）	1
	小学校来館対応（勾玉作り・火おこし）	3
5	小学校来館対応（勾玉作り・火おこし）	5
	旧稲垣家住宅いろり火入れ	1
	農家の食と年中行事①	2
	博物館の日	12
	まちづくりセンター出前講座（万華鏡作り）	2
	ボランティア研修（博物館まつり準備）	8
	陶芸自由開放日	1
	小学校来館対応（縄文土器作り・火おこし・古代米炊飯体験・旧稲垣家かまど炊飯体験）	2
	博物館まつり	12
	ボランティア月例会	12
6	博物館の日	4
	かまど飯を食べよう！	1
	小学校出張講座（縄文土器作り）	6
	ボランティア研修（資料整理）	8
	まちづくりセンター講座対応（旧稲垣家かまど炊飯体験）	2
	陶芸自由開放日	1
	まちづくりセンター出前講座（ミニミニはにわ作り）	1
	福祉施設出張体験（陶芸体験）	5
	ボランティア月例会	17

月	内　　容	人数
6	富士山ネットワークＰＲイベント（富士山おりがみ）	1
	中学校来館対応（折染め団扇作り）	4
7	農家の食と年中行事①	2
	博物館の日	8
	ボランティア研修（資料整理）	5
	富士山ネットワークＰＲイベント（富士山おりがみ）	3
	陶芸自由開放日	1
	小学校出張講座（縄文土器野焼き）	3
	生涯学習団体出前講座（万華鏡作り）	3
	まちづくりセンター講座対応（勾玉作り）	3
	ボーイスカウト来館対応（草木染めハンカチ作り）	2
	ミニミニはにわ作り	3
	小学校出張講座（縄文土器作り）	4
	ボランティア月例会	17
	まちづくりセンター出前講座（菊花線香作り）	3
8	富士山ネットワークＰＲイベント（富士山おりがみ）	1
	博物館の日	3
	戦時中の料理	1
	ボランティア研修（和綴じ本製作準備）	6
	陶芸自由開放日	1
	まちづくりセンター出前講座（勾玉作り）	1
	農家の食と年中行事①	3
	まちづくりセンター（草木染めハンカチ作り）	2
	福祉施設出張体験（キューブキャンドル作り）	4
	ボランティア月例会	11
9	博物館の日	5
	福祉施設出張体験（紙漉き体験）	5
	小学校来館対応（旧稲垣家住宅いろり火入れ）	1

月	内　　容	人数
9	ボランティア研修（和綴じ本製作）	10
	農家の食と年中行事①	2
	陶芸自由開放日	1
	かやぶき農家の癒しのおんがく会	1
	小学校出張講座（縄文土器の野焼き）	6
	ボランティア月例会	11
	小学校来館対応（旧稲垣家住宅いろり火入れ・かまど炊飯体験）	2
10	博物館の日	4
	宿場まつり展示準備	4
	宿場まつり案内・体験補助（ヨーヨー作り・富士山おりがみ）	8
	小学校出張講座（紙漉き体験）	2
	小学校出張講座（陶芸体験）	2
	ボランティア研修（体験講座準備）	1
	旧稲垣家住宅お泊まり体験補助	1
	富士山ネットワークＰＲイベント（富士山おりがみ）	2
	陶芸自由開放日	1
	ボランティア月例会	10
	紙フェア体験補助（富士山おりがみ）	11
	農家の食と年中行事①	1
11	小学校来館対応（旧稲垣家住宅かまど炊飯体験）	1
	博物館の日	4
	他館ボランティア見学対応（旧稲垣家住宅いろり火入れ）	6
	ボランティア研修会（島田市博物館・藤枝市郷土博物館見学など）	14
	陶芸自由開放日	1
	小学校来館対応（旧稲垣家住宅かまど炊飯体験）	1
	たんけん！はくぶつかん！体験補助	2
	生涯学習団体来館対応（陶芸体験）	3
	親子どきやき体験補助	2
	農家の食と年中行事①	3
	ボランティア月例会	13
	農家の食と年中行事①	4
	富士山ネットワークＰＲイベント（富士山おりがみ）	1

ボランティア研修会（大井川鐵道）

月	内　　容	人数
12	ボランティア研修（資料整理）	9
	博物館の日	7
	小学校来館対応（旧稲垣家住宅かまど炊飯体験）	3
	農家の食と年中行事①	10
	ボランティア月例会	14
1	農家の食と年中行事①	5
	古墳ミステリーツアー補助	2
	陶芸自由開放日	1
	社会教育施設講座対応（陶芸体験）	3
	小学校来館対応（旧稲垣家住宅かまど炊飯・紙漉き体験）	4
	小学校出張講座（昔の道具）	1
	小学校出張講座（昔の道具）	4
	ボランティア月例会	13
	小学校来館対応（旧稲垣家住宅いろり火入れ・昔の道具）	1
2	小学校出張講座（昔の道具）	1
	小学校来館対応（旧稲垣家住宅いろり火入れ・火吹き体験）	1
	小学校来館対応（旧稲垣家住宅いろり火入れ・紙漉き体験）	2
	生涯学習団体来館対応（旧稲垣家住宅かまど炊飯体験）	2
	博物館の日	8
	小学校来館対応（旧稲垣家住宅いろり火入れ・火吹き体験）	1
	小学校来館対応（旧稲垣家住宅いろり火入れ）	1
	小学校来館対応（旧稲垣家住宅かまど炊飯体験）	2
	ボランティア研修（古墳ミステリーツアー）	6
	陶芸自由開放日	1
	小学校来館対応（館内展示解説）	2
	なんでも富士山　ブースでの接客	1
	小学校来館対応（昔の道具）	3
	ボランティア月例会	14
	小学校来館対応（昔の道具）	2
3	まちづくりセンター出前講座（紙漉き体験）	1
	博物館の日	8
	ボランティア研修（体験講座準備）	5
	陶芸自由開放日	1
	農家の食と年中行事①	4
	古代料理レストラン	3
	富士山ネットワークＰＲイベント（富士山おりがみ）	3
	ボランティア月例会	13
	テーマ展関連イベント（オフダ刷り）	2
	小学校来館対応（旧稲垣家住宅かまど炊飯・火おこし体験）	1
	生涯学習団体来館対応（陶芸体験）	2

（5）　富士山かぐや姫ミュージアムイメージキャラクター「ふじかぐちゃん」に愛称決定！

経緯

富士市立博物館は、平成 28 年 4 月 29 日、耐震リニューアル工事を経て、富士山かぐや姫ミュージアムとして生まれ変わりました。ミュージアムでは、富士山へ帰るかぐや姫の伝説をメイン展示として、富士市の歴史や民俗をご紹介しています。

なかでも、目玉としている富士山へ帰るかぐや姫伝説は、そのストーリーが絵本にまとめられ、かぐや姫のイラストはミュージアムのオリジナルグッズとして展開しており好評を博しています。

しかし、このかぐや姫のキャラクターには愛称がなかったため、富士山かぐや姫ミュージアムの周知と、より広く市民に愛される富士市のキャラクターとして定着させるため、富士山かぐや姫ミュージアムのキャラクター愛称を募集しました。

募集方法

①当ミュージアムに備え付けの応募用紙に必要事項を記載の上、受付に直接、提出（1 人 1 作品まで）。

②平成 30 年 2 月 17 日（土）の「なんでも富士山 2018」当ミュージアムブースにて、応募用紙に必要事項を記載の上、その場で提出。

応募期間

①平成 30 年 1 月 20 日（土）～ 2 月 17 日（土）9 時～ 16 時 30 分

②平成 30 年 2 月 17 日（土）10 時～ 15 時

選考

当ミュージアムにおいて審査の上、採用作品 1 点を決定。

発表

平成 30 年 2 月 23 日（金）「富士山の日」に当ミュージアム特設ブースにて発表。応募総数 124 点のなかから決定した、富士山に帰るかぐや姫伝説にふさわしい「ふじかぐちゃん」の愛称をお披露目しました。

「ふじかぐちゃん」お披露目式（平成 30 年 2 月 23 日）

周りの円の中の言葉は、「ふじかぐちゃん」でご応募くださった方々の想いです（原文のまま掲載）。

2　平成 29 年度　施策・利用状況

（1）　平成 29 年度教育行政の基本方針と施策

目　　標　「学び合い　学び続ける「ふじの人」づくり」
施策の柱　「市民の学びと青少年健全育成の推進」
補助執行事業　「文化財施設の整備（文化振興課・博物館）」

博物館では、本館と歴史民俗資料館、旧稲垣家住宅などの屋外展示や富士川民俗資料館等で富士市の歴史・文化及び文化財を紹介しています。それらを、市民により身近に感じてもらえるように、展示会を企画・開催し、先人が行っていた生活の知恵や技術を実際に学べるよう、体験講座を行っています。

また、博物館をはじめとしたふるさと村歴史ゾーンにユニバーサルデザインの考えを取り入れ、多くの市民が利用できる施設として整備するとともに、博物館事業及び膨大な所蔵資料等も紹介する博物館ウェブサイトの充実を図っていきます。

さらに、本年度は県指定文化財旧稲垣家住宅茅葺屋根・土壁修繕などの業務や、企画展、リニューアルオープン 1 周年記念展、静岡県立美術館移動美術展等を行っていきます。

（以下、◎重点事業、◇新規事業、・継続中の主な事業、○その他の事業）

◎博物館施設・展示・講座の充実
・魅力的な施設整備と、充実した展示・講座を開催し、博物館施設利用者数の増加に努める。
・本市の歴史・文化を楽しく学べるよう、ふるさと村歴史ゾーンの保存及び利活用について研究する。

◎六所家総合調査の推進
・約 40,000 点の六所家旧蔵資料の調査と報告書作成。
・資料を後世に伝えるため、研究・補修事業の実施。
◇市民への周知を図るため常設的に展示公開する。

◎博物館ウェブサイトの充実
・公開する情報量をさらに充実していく。

◎博物館収蔵品データベースの整備
・収蔵品データベースを再整備し、ウェブサイト上でより検索しやすくする。

◇県指定文化財旧稲垣家住宅茅葺屋根・土壁修繕

○資料調査研究事業

○資料購入事業（富士山、かぐや姫関係資料等の購入）

（2）　予算・決算の概要

平成 29 年度予算・決算

単位：千円

項　　目		予算現額	決算額	説　　明
1	給与費	57,561	55,610	
	①博物館協議会委員	192	188	協議会委員報酬
	②一般職	57,369	55,422	一般職員給料、職員手当、共済費
2	博物館管理費	54,378	50,270	
	①博物館運営管理事業費	28,787	24,889	事務補助員等賃金、光熱水費、通信運搬費、消耗品費、印刷製本費
	②博物館施設管理事業費	25,591	25,381	施設警備・保守点検業務委託費、館内外清掃業務委託費、屋外展示等清掃業務委託費、維持補修工事等
3	博物館事業費	5,663	5,179	
	①企画展事業費	2,979	2,891	企画展、リニューアルオープン 1 周年記念展、春・秋の各テーマ展等、展示会にかかる事業費
	②各種講座等教育普及事業費	2,684	2,288	博物館まつり、博物館の日、チャレンジ !! 陶芸、陶芸歳時器、古代人の暮らし、富士の型染体験、手作り和紙工芸、一閑張入門、たんけん！はくぶつかん！、農家の食と年中行事、稲垣家のお泊り体験等
4	博物館調査費	7,239	6,265	
	①資料調査研究事業費	454	281	資料収集調査
	②資料購入事業費	400	389	富士山・かぐや姫に関する資料等購入
	③資料保存整備事業費	1,182	1,009	博物館館蔵品のデータベース保守等
	④六所家総合調査事業費	5,203	4,586	六所家総合調査にかかる事業費
合　　計		124,841	117,324	

（3）　博物館協議会

博物館協議会委員

任期：平成 29 年 6 月 1 日～平成 31 年 5 月 31 日

50 音順 敬称略

No.	氏　　名	備　　考
1	石川　薫	静岡県伝統建築技術協会副理事長
2	小澤　緑	富士自然観察の会副会長
3	加藤　昭夫	駿河郷土史研究会会長
4	児玉　実香	市民公募委員
5	小林　真人	富士市立広見小学校校長
6	齊藤　隆裕	富士市立富士川第二小学校校長
7	佐藤　廣美	静岡県工業技術研究所富士工業技術支援センター長
8	佐野　五十三	富士市立富士川第二小学校学校運営協議会委員
9	壽　和徳	市民公募委員
10	外立　ますみ	日本民具学会会員

平成 29 年度　博物館協議会開催実績

回	日　付	開催場所	議　題　・　内　容
1	平成 29 年 7 月 4 日	富士山かぐや姫ミュージアム 講座室	・平成 28 年度事業報告及び平成 29 年度事業計画 ・提言に向けて
2	平成 30 年 2 月 1 日	静岡県富士山世界遺産センター 富士川民俗資料館 小休本陣常盤家住宅主屋	・先進施設の展示手法及び運営課題について ・管理施設の概要及び現況について
3	平成 30 年 3 月 28 日	富士山かぐや姫ミュージアム 講座室	・平成 29 年度事業報告 ・提言への意見「施設管理・整備について」

博物館協議会（1 回目）

博物館協議会（1 回目）

（4） 利用状況

平成 29 年度博物館事業利用状況

年間開館日数	305 日
年間利用者数	79,804 人
一日平均利用者数	262 人
利 用 者 累 計	1,594,299 人

平成 29 年度博物館施設利用状況

利用場所			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
本館	1階（実数）	大人	1,118	1,369	604	576	1,308	965	873	1,793	466	618	891	859	11,440
		小人	748	611	127	438	455	504	241	276	179	286	532	239	4,636
	1階　計		1,866	1,980	731	1,014	1,763	1,469	1,114	2,069	645	904	1,423	1,098	16,076
	2階（実数）		6,440	6,595	3,040	2,852	3,202	3,576	3,286	4,758	2,205	2,431	3,762	6,006	48,153
	＜小計（実数）＞		9,915	8,575	3,771	3,866	4,965	5,045	4,400	6,827	2,850	3,335	5,185	7,104	65,838
	報告人数 1階（実数）	大人	1,118	1,369	604	576	1,308	965	873	1,793	466	618	891	859	11,440
		小人	748	611	127	438	455	504	241	276	179	286	532	239	4,636
	報告人数 2階（× 0.7）	大人	3,364	3,369	1,746	1,363	1,642	1,850	1,877	2,929	1,189	1,330	1,839	3,323	25,821
		小人	1,120	1,224	364	610	577	631	404	377	336	356	775	858	7,632
	本館大人計（報告人数）		4,482	4,738	2,350	1,939	2,950	2,815	2,750	4,722	1,655	1,948	2,730	4,182	37,261
	本館小人計（報告人数）		1,868	1,835	491	1,048	1,032	1,135	645	653	515	642	1,307	1,097	12,268
	《合計》		6,350	6,573	2,841	2,987	3,982	3,950	3,395	5,375	2,170	2,590	4,037	5,279	49,529
歴史民俗資料館	個人	大人	410	576	243	221	312	242	204	274	203	245	333	412	3,675
		小人	87	258	37	66	138	167	37	78	64	76	257	132	1,397
	団体	大人	26	36	16	5	0	10	4	13	9	12	10	0	141
		小人	291	0	0	31	0	172	42	180	86	128	280	18	1,228
	歴民大人計		436	612	259	226	312	252	208	287	212	257	343	412	3,816
	歴民小人計		378	258	37	97	138	339	79	258	150	204	537	150	2,625
	《合計》		814	870	296	323	450	591	287	545	362	461	880	562	6,441
その他	陶芸室	大人	415	248	417	142	371	402	40	424	367	333	381	392	3,932
		小人	58	69	63	101	142	87	58	93	60	19	92	58	900
	染色室	大人	158	139	150	242	180	171	58	199	128	104	173	189	1,891
		小人	16	7	12	83	98	36	8	11	74	0	31	84	460
	実習室	大人	84	66	58	37	9	29	22	33	20	21	29	38	446
		小人	14	7	7	7	17	2	0	0	0	127	0	0	181
	会議室	大人	40	45	11	49	31	17	27	28	13	28	14	36	339
		小人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	旧稲垣家住宅	大人	680	1,045	293	305	195	243	631	555	286	297	332	1,237	6,099
		小人	1,209	495	117	201	70	401	174	233	183	214	453	628	4,378
	出張体験指導	大人	4	0	25	63	8	58	143	193	0	51	43	1	589
		小人	139	45	153	208	54	78	156	12	0	315	483	30	1,673
	その他大人計		1,381	1,543	954	838	794	920	921	1,432	814	834	972	1,893	13,296
	その他小人計		1,436	623	352	600	381	604	396	349	317	675	1,059	800	7,592
	《合計》		2,817	2,166	1,306	1,438	1,175	1,524	1,317	1,781	1,131	1,509	2,031	2,693	20,888
富士川民俗資料館	個人	大人	47	58	9	0	0	0	0	0	0	0	0	50	164
		小人	3	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3	14
	団体	大人	0	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	38
		小人	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
	富士川民俗資料館大人計		47	83	9	0	0	0	0	0	0	0	0	63	202
	富士川民俗資料館小人計		3	6	12	0	0	0	0	0	0	0	0	3	24
	《合計》		50	89	21	0	0	0	0	0	0	0	0	66	226
小休本陣常盤家住宅	個人	大人	110	108	55	35	44	48	70	70	62	48	94	107	851
		小人	1	8	0	2	6	0	1	9	2	1	5	6	41
	団体	大人	48	53	51	82	0	210	60	20	21	249	796	153	1,743
		小人	0	0	0	0	0	12	0	53	0	0	20	0	85
	小休本陣大人計		158	161	106	117	44	258	130	90	83	297	890	260	2,594
	小休小人計		1	8	0	2	6	12	1	62	2	1	25	6	126
	《合計》		159	169	106	119	50	270	131	152	85	298	915	266	2,720
総合計　大人			6,504	7,137	3,678	3,120	4,100	4,245	4,009	6,531	2,764	3,336	4,935	6,810	57,169
総合計　小人			3,686	2,730	892	1,747	1,557	2,090	1,121	1,322	984	1,522	2,928	2,056	22,635
《総合計》			10,190	9,867	4,570	4,867	5,657	6,335	5,130	7,853	3,748	4,858	7,863	8,866	79,804

前年比（%）	225	54	71	72	74	98	69	86	73	91	83	108	84
開館日数（日）	26	27	26	26	28	26	26	26	24	20	24	26	305
一日平均（人）	392	365	176	187	202	244	197	302	156	243	328	341	262

対 28 年度

本館	4,912	-5,004	-681	-822	-1,626	302	-871	268	-803	-870	-139	301	-5,033
歴史民俗資料館	-30	-451	-176	-202	-49	117	-129	76	-47	108	-170	79	-874
工芸・体験等	853	-2,538	-800	-292	-324	-680	-1,119	-193	-484	195	-173	863	-4,692
富士川民俗資料館	13	47	-76	-42	-22	-22	-34	-58	-35	-35	-837	16	-1,085
小休本陣常盤家住宅	-85	-435	-162	-572	7	172	-179	-1,343	-17	127	-257	-592	-3,336
合計	5,663	-8,381	-1,895	-1,930	-2,014	-111	-2,332	-1,250	-1,386	-475	-1,576	667	-15,020

博物館利用の推移

年度	開館日数	施設利用者別			施設別					合計	累計	一日平均利用者数
		大人	小人	合計	本館	歴史民俗資料館	富士川民俗資料館	小休本陣常盤家住宅	講座・体験活動等			
昭和 56	274	16,133	16,425	32,558	32,558					32,558	32,558	119
57	295	11,636	18,024	29,660	29,660					29,660	62,218	101
58	293	10,077	15,074	25,151	25,151					25,151	87,369	86
59	297	10,065	13,847	23,912	23,912					23,912	111,281	81
60	292	12,513	13,680	26,193	26,193					26,193	137,474	90
61	256	11,751	9,124	20,875	20,875					20,875	158,349	82
62	293	17,132	10,489	27,621	27,621					27,621	185,970	94
63	291	19,455	11,037	30,492	30,492					30,492	216,462	105
平成 1	292	25,043	11,561	36,604	25,796				10,808	36,604	253,066	125
2	292	25,118	11,431	36,549	36,549					36,549	289,615	125
3	291	23,826	10,566	34,392	34,392					34,392	324,007	118
4	294	24,132	11,700	35,832	24,983				10,849	35,832	359,839	122
5	294	26,666	11,209	37,875	25,580				12,295	37,875	397,714	129
6	293	26,462	11,649	38,111	21,319				16,792	38,111	435,825	130
7	294	30,101	18,130	48,231	19,604	14,691			13,936	48,231	484,056	164
8	296	28,436	13,775	42,211	16,335	14,060			11,816	42,211	526,267	143
9	292	26,206	16,031	42,237	15,392	14,942			11,903	42,237	568,504	145
10	293	27,396	18,575	45,971	14,275	14,951			16,745	45,971	614,475	157
11	292	27,261	16,684	43,945	12,074	13,909			17,962	43,945	658,420	150
12	291	27,089	18,440	45,529	12,055	13,040			20,434	45,529	703,949	156
13	291	30,986	19,778	50,764	13,753	13,529			23,482	50,764	754,713	174
14	291	28,972	17,220	46,192	12,177	11,125			22,890	46,192	800,905	159
15	291	29,594	18,478	48,072	14,496	11,885			21,691	48,072	848,977	165
16	291	26,228	26,001	52,229	14,787	10,469			26,973	52,229	901,206	179
17	293	23,845	20,575	44,420	12,324	8,757			23,339	44,420	945,626	152
18	294	24,166	21,241	45,407	13,590	10,244			21,573	45,407	991,033	154
19	292	25,259	21,910	47,169	13,411	9,937			23,821	47,169	1,038,202	162
20	293	28,199	24,371	52,570	12,872	11,222	1,172	2,177	25,127	52,570	1,090,772	179
21	294	36,563	18,767	55,330	12,311	10,787	2,315	3,116	26,801	55,330	1,146,102	188
22	292	29,059	14,214	43,273	9,204	8,357	1,635	1,835	22,242	43,273	1,189,375	148
23	295	33,373	18,945	52,318	12,383	9,161	1,360	1,833	27,581	52,318	1,241,693	177
24	294	32,848	14,265	47,113	9,860	7,938	821	1,575	26,919	47,113	1,288,806	160
25	291	26,895	14,510	41,405	9,489	6,423	835	1,815	22,843	41,405	1,330,211	142
26	290	35,099	16,518	51,617	9,621	7,335	948	3,439	30,274	51,617	1,381,828	178
27	301	24,792	13,051	37,843	3,081	6,747	865	2,748	24,402	37,843	1,419,671	126
28	302	70,300	24,524	94,824	54,562	7,315	1,311	6,056	25,580	94,824	1,514,495	314
29	305	57,169	22,635	79,804	49,529	6,441	226	2,720	20,888	79,804	1,594,299	262
	10,805	989,845	604,454	1,594,299	752,266	243,265	11,488	27,314	559,966	1,594,299		147

（５）　観覧者の声

２階管理業務日報から

・英語のパンフレットをいただき、説明もしてもらってうれしかったです（アメリカ人６人）。
・明治生まれの祖父の足跡を追って歴史を研究していますが、展示が参考になりました。
・千葉県から来ました。かぐや姫の伝承についてとても興味深く見学しました。
・富士の巻狩の浮世絵を目当てに来館しました。
・企画展大村西崖展を山形県から観に来ました！
・ふじのくに田子の浦みなと公園に寄った後、ディアナ号の展示を見学に来ました。
・神奈川県より、団体で来ました。楽しく観覧いたしました。
・久しぶりの来館でしたが、展示ひとつひとつに感嘆いたしました。これから何回も来ます。
・白隠禅師「富士大名行列図」（パネル展示）を興味深く拝見しました。
・小学生の子供と親子で、学校の宿題「富士のかぐや姫」について勉強に来ました。
・茨城県から旅行で寄りました。歴史の見所をわかりやすく説明してもらい、感動しました。
・香川県から、田子浦から富士山までウォーキングの途中に寄りました。展示内容が素晴らしく富士山の歴史がわかりました。
・オーストラリアから来ました。富士山への道順を教えていただきました。
・博物館の日で、展示をみながらのクイズラリーに挑戦し、熱中しました。
・全国的に知られている物語とはちがう富士市の「かぐや姫」伝説の説明を興味深く聞きました。
・２階ロビーの竹細工の照明が素晴らしかったです。
・広見公園の新緑とバラの美しさに感激しました。
・企画展を拝見し、大村西崖の業績にたいへん感動しました。
・茨城県から親子で来ました。富士のかぐや姫の展示説明を興味深く聞きました。
・福岡県から来ました。富士山について説明をしていただきました。企画展大村西崖の資料も特別にいただきありがとうございました。
・鳥居講の木材を提供した者です。役目を終え富士山頂から移築された鳥居を見て感激しました。
・袋井市からグループで来ましたが、浮島沼での田植えの様子を展示で拝見し、昔話に花が咲きました。
・名古屋市から来ました。昨日は田貫湖に泊まり、本日展示をゆっくり観ました。屋外展示も案内していただきありがとうございました。
・富士山とかぐや姫の展示を見学し、和歌を一句。「かぐや姫　つひに帰るは月ならず　富士山なりと　我がまちの伝説」（富士市今泉在住）
・自分達の街にもフェルケ―ル博物館がありますが、自分達の街の歴史にもっと関心を持って皆で大事にしたいと改めて思いました。
・名古屋市から来ましたが、富士山頂に奉納されていた鳥居の実物に、感激しました。
・広見公園のバラが見ごろとの紹介をテレビで見て訪れました。
・蒲原から歩け歩けの会で途中に寄りましたが、これだけ立派な施設を無料で見られるとは感嘆しました。
・宿場のジオラマが面白かったです。
・焼津市からインターネットで調べて来ました。これだけ素晴らしい博物館なので、もっとＰＲするとよいと思います。
・こんなに素晴らしい博物館と公園で、観覧料も駐車場も無料とは驚きました。
・学校の調べ学習で来館し、昔のことやかぐや姫のことをいろいろ説明してもらいました。
・夏休みの自由研究のテーマにした曽我兄弟の仇討ちの勉強に来ました。
・東京から、田子浦から歩いて富士登山の途中に立ち寄りました。
・夏休みに孫を案内するために、夫婦で下見に来ました。
・もっとたくさんの人に見に来てほしいです。宣伝したいと思います。
・横浜から昨晩吉原の鯛屋旅館に宿泊し、話を聞いてミュージアムへ来ました。展示を見学できてよかったです。
・「新出富士参詣曼荼羅」の限定公開を観に来ました。学芸員の解説も聴けてよかったです。
・夏休みの課題で、昔の学校・遊び・道具・生活用具・食べ物などを調べに、博物館や歴史民俗資料館を見学に来ました。
・次回は友達と見学に来ます（高校生）。
・横浜の東海道を歩く会の会員です。帰ったら、富士山かぐや姫ミュージアムと広見公園の素晴らしさを皆に伝え、バスで必ず連れてきます。
・県外から里帰りのついでに見学に来ました。遺物の歴

史的背景を考える見方についてとても興味を持ちました。
・富士宮市から、富士登山をする前に鳥居講について見学に来ました。
・展示を見て、富士市在住ですが知らないことが多いので、また来ます。
・東京から、富士市内のかぐや姫史跡を訪ねてからミュージアムへ来ました。
・東北出身です。明日富士登山を控えて来館しました。富士山の麓に住んでいる方がうらやましいです。富士のかぐや姫伝説に強い興味を持ちました。
・在日 14 年、ミュージアム訪問のため新富士駅から歩いて来ました（東京都内で勤務しているフランス人女性）。
・東泉院の歴史に興味があり、展示会「地頭と呼ばれた寺院」を目当てに来ました。
・「地頭と呼ばれた寺院」は、内容的におもしろかったです。展示会の図録がほしいです。
・かぐや姫の顔出し看板ですが、家族 5 人で来たので 5 つの穴が開いていたらよかったです。楽しめました。
・ディアナ号の遭難時、市内の人が 500 人の命を救ったことに感心しました。
・他県からの友達を連れてかぐや姫の展示をまた観に来ました。
・学芸員の案内で楽しく拝観しました。素晴らしい施設と公園の自然に感激しました。今度は家族や友人を連れて来たいです。
・久しぶりに来館しましたが、展示の多さと素晴らしい設備に感激しました。
・大阪から来ました。広見公園や付属施設がたいへん充実しています。とても楽しく過ごしました。
・宿場のレプリカや富士川についての資料に関心を持ちました。
・浜松から来ましたが、良い施設ですね。県内にもっとアピールしたいです。
・展示内容が豊富で感心します。
・広見公園を散歩の都度立ち寄っています。
・富士川舟運の映像展示が素晴らしかったです。
・古墳の出土品の細工に驚きました。
・製紙会社を見学したついでに、見学に来ました。
・「富士山と静岡ゆかりの画家たち」を観に来ました。富士山の絵画は素晴らしいです。今後も度々展示会を開催してほしいです。
・博物館の愛称も良いので、富士山を強くアピールするような企画をこれからも望みます。
・井上恒也展を見て、はじめて画家を知りました。
・江戸時代の登山道がよくわかり、展示も工夫されていて面白かったです。
・古墳カードクエストで、ミュージアムだけでなく広見公園や歴史民俗資料館を見学しました。
・リニューアルしてから初めて来ましたが、じっくり見学させていただきました。
・埋蔵文化財に興味があり、見学に来ました（アメリカ人英語教師）。
・リニューアルして、照明が明るくなって見やすくなってうれしいです。
・以前見学した知り合いから勧められて、浜松市から来館しました。
・兵庫県から来ました。木花開耶姫とかぐや姫がどこで入れ替わったのか興味持ち、展示をじっくり拝見しました。
・富士山頂に奉納されていた鳥居はご利益がありそうなので、写真に撮っていきました。
・テレビ放映を見て、かぐや姫の展示を観に来ました。
・館内展示の細やかな説明に感激しました。皆に教えてあげようと思います。
・石造物の研究のために来館し、学芸員に詳しく説明していただきました。
・桜もたいへん美しいとのこと、見ごろの時季にまた来ます。
・京都より、謡曲の歌詞にある東海道間の宿本市場名物「富士の白酒」を調べに来ました。
・福岡から、道の駅にあったパンフレットを見て来館しました。素晴らしいです。
・公園の中にある博物館！！素晴らしい！ステキ！ビックリ！
・筍から竹に伸びていく映像に驚き、家族で喜んで観ました。
・染色工芸に携わる者、富士の型染の小山もと子展を開館と同時に入場して観覧しました。
・花見のついでに来館しました。

企画展アンケート結果より
「リニューアルオープン 1 周年記念」
・思いのほか素晴らしいミュージアムです。友達に教えてあげたいと思いますし、一緒に歩いて説明していただいて本当に良かったです。
・展示内容ももちろんですが、「竹取物語」にちなんで、

竹を使った小物があったのが雰囲気を出していて良かった。また名称が変わったのは知っていましたが、「かぐや姫」って何でだと思っていた謎が解けました。
・富士市に移って40年、富士登山は何度も行いましたが、富士山に関することを全般的に知ることはなく、1つの場所で知ることができて参考になりました。友人などにも今日得た知識を伝えられたらと思います。
・地元に住んでいながら、富士山は見るもの、拝むものとしていたが、登山・信仰・気象と先人の苦労を感じました。
・富士山西南麓一帯の富士山と暮らしてきた人々の生活の様子が本当によく解った。素晴らしいミュージアムをつくっていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。
・何度来てもいい。懐かしさと新しいものを一度に吸収できていい。初めて母親（富士市出身）を連れてきたがとても喜んでくれました。
・子供の自由研究の参考になると来ました。小1の子供もとても興味深くみていました。
・子供と公園に来て初めて寄りました。涼むつもりで入ったのですが、館内は綺麗で子供も喜ぶ展示もあり、楽しめました。
・小学生の子供たちが毎年バスで行っていることは聞いていましたが、来たのは初めてでした。このような素晴らしい博物館を無料で拝観させていただけるなんてすごいことだと先ず思いました。今は過去の歴史があってから成り立つことを目で見て学べる場所があるのはすばらしいことです。子供たちに伝えて、多くの方に学んでもらいたいと感じました。
・学校で歴史の勉強を今やっていることと同じことがあったので良かったです。
・何かを体験できたりするところがいい。いろんなことができるから。かぐや姫について、いろいろ学べて富士市がもっと好きになりました。

「地頭」と呼ばれた寺院

・学校の社会科見学で知り、もう一度来てみました。学校で着たときはあまり自由に動けなかったけど、自由にまわれて楽しかったです。いろんなことが勉強になりました。ありがとうございました。また来ます。※かぐや姫のイラストあり。
・かぐや姫や昔のことについて知れたのでまた来ます。入場無料なのが本当にかぐや姫のことについて知ってもらいたいということが分かりました。私も協力します。
・その時代の生活や、勉強のことなどが知れてよかったです。今の時代で感じられないことがたくさんあっていい体験ができました。
・こんなにおもしろく、丁寧に地元の話がわかり、よかった。もっと多くの人に伝わるとよい。（私も知らなかったので）
・東泉院の一番の仕事は「祈り」という国内の平穏であることを幕府・朝廷が願っていたことを知り、平和を願う当時の国の主政者がいたことを知り、感銘を受けました。
・今と変わらぬマナールールが分かりおもしろかった。証拠を文書で残す時代のために寺子屋がさかんで感心した。良い施設をもっと見る機会。富士駅からの直通バスを1時間に1本程度増便するべき。
・古文書が詳しい説明や構成により、わかりやすく楽しく拝見しました。古文書はともすれば内容が理解できず・・・、他の分かりやすい展示物に目が向いてしまいます。中高生など楽しんでもらえたと思います。
・富士で産まれて育って70年近くたちます。しかも吉原公園近くが実家になりますので、旧東泉院宝蔵は見覚えがあります。現在神戸に住んでいますので、興味があり良かったです。昔の先祖や父祖たちの百姓生活にも想い出されました。娘が小学生の頃、参加した自然塾「猪土手学級」も懐かしく想い出しました。
・昔から吉原公園の隣は木がうっそうと繁っていて、近寄りがたかったけれど、展示を見て親しみがわきました。昔は村中が団結していたことがよくわかります。最近東泉院の塀と門が文化財に指定されて一層興味がわきました。ありがとうございました。

第55回企画展「産業の種蒔く人」

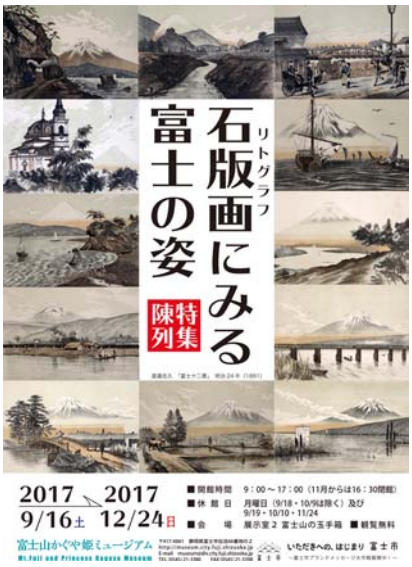
・めずらしいものがたくさんあってびっくりした。時代の流れがわかりやすい展示でよかったです。
・とても丁寧に展示してあり、わかりやすかったです。
・昔は狩りをしていて、大変な生活だと思いました。
・前来たときより、展示しているものが増え、歴史が多く楽しく学べて良かったです。
・絵や図であらわしていたので、とてもわかりやすいです。
・とても魅力的な展示、この地域らしさ、ここならではの知識（情報）が得られ、地域の見直しができました。
・すごく昔のものが見れて楽しいです。
・いままで知らなかったことがわかる、自慢でき

る！
・カードのやつをみんな集中してやっていたから、カード集めをずっとやってほしいです。
・自分が住んでる地域で歴史的に貴重なものが発見されていることを知り、感慨深かったです。
・色々なものが土の中からでてきてすごいと思いました。
・知識が少なくても、小学生向けのざっくりとした解説が添えてあり、内容の大枠を理解しやすいです。
・全体的に暗めで雰囲気があり、展示をみようとさせるつかみがよいです。
・明るく分かりやすくてよい。以前のような展示だと古代は暗いイメージになりがちかと思います。本来は現代の私達に今を生きる活力を与えられるのではと考えます。
・展示プレートのタイトルがとてもわかりやすく、少しおしゃれなのがいいです。
・昔よりもわかりやすく、見やすくなっていて良かった。SNS 等での宣伝を通して広まってほしいです。
・謎の武器（丁字形利器）が変な形をしていてびっくりしました。
・はじめてきてとてもよかった。しかもただ！
・アニメを作っているのがわかりやすくて良いです。
・さまざまなしかけがあり、たのしかったです。

浮世絵にみる富士の巻狩（フライヤー）

富士山と静岡ゆかりの画家たち（フライヤー）

富士ゆかりの画家　井上恒也展（フライヤー）

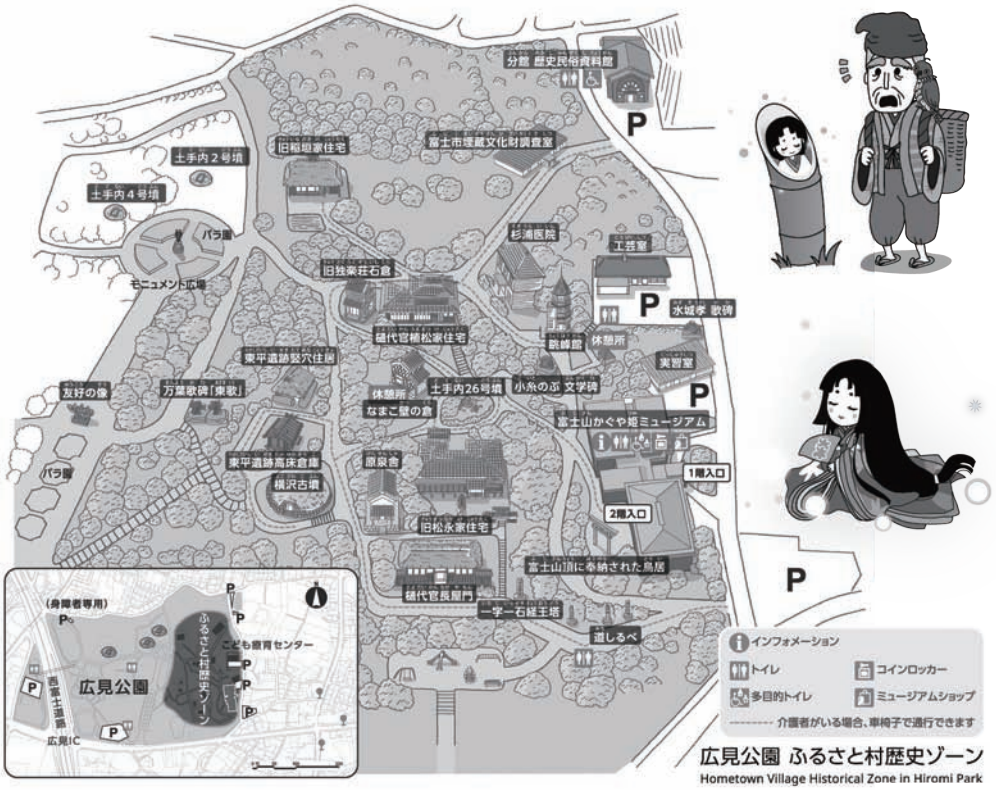


石版画にみる富士の姿（フライヤー）

オフダに込められた祈りのカタチ・
小山もと子生誕百年寄贈品展（フライヤー）

3　富士山かぐや姫ミュージアムの概要

（1）　施設の概要



＜富士市立博物館施設面積一覧＞　　単位：㎡

区　分	名　称		土地面積	延べ床面積
本　館	本　　館		4,951.00	1,740.34
	実　習　室			200.00
	工　芸　棟			248.43
	小　計		4,951.00	2,183.17
歴史民俗資料館	歴史民俗資料館		1,665.00	656.95
	収　蔵　庫			208.75
	屋外展示	道しるべ	39,687.50	-
		樋代官長屋門		69.20
		旧松永家住宅		180.37
		一字一石経王塔		-
		原泉舎		74.40
		横沢古墳		-
		東平遺跡高床倉庫		18.17
		東平遺跡竪穴住居		23.50
		万葉歌碑「東歌」		-
		小糸のぶ文学碑		-
		眺峰館		59.01
		杉浦医院		138.60
		樋代官植松家住宅		195.00
		旧独楽荘石倉		33.00
		旧稲垣家住宅		140.02
	その他施設	消火栓ポンプ室		9.36
		なまこ壁の倉（休憩所）		9.72
	小　計		41,352.50	1,836.42
外部収蔵庫			4438.76	428.72
合　計			50,742.26	4,427.94

（2）　事業の概要

事業

◇展示

①常設展示

■本館

展示室１　富士に生きる　富士山かぐや姫ミュージアムのすべての展示に共通する大きなテーマは「富士に生きる」。そのテーマを冠する展示室１では、富士山南麓の地質環境と、旧石器時代から近代までのおよそ16,000年以上にわたるこの地に暮らした人びとの歴史を紹介する。

展示室２　富士山の玉手箱　当館が収集してきた富士山をモチーフとした絵画や写真、工芸品などの名品を展示するほか、特にテーマ･会期を設けた特集展示も行う。

展示室３　富士山とかぐや姫　富士市には、かぐや姫は月に帰らずに富士山へと帰り、富士山の神となるというストーリーが伝わっている。他に例を見ない筋書きに注目し、展示室３「富士山とかぐや姫」では、『富士山縁起』と呼ばれる、この地域に伝承された貴重な資料などから、富士山とかぐや姫とのつながりを明らかにする。ここではさらに、富士山に対する信仰の姿として、南麓で活動した「村山修験」、富士山と密接にかかわる貴重な信仰行事である「岩淵鳥居講」を取り上げ、世界文化遺産となった富士山の重要性を伝えていく。

展示室４　竹取物語の広がり　日本各地の竹取物語ゆかりの地や関連グッズの紹介のほか、静岡県世界遺産センターと連携した展示を行う。

■分館・歴史民俗資料館

１階フロア　富士市域は、駿河湾の海岸から富士川・潤井川などの河川によるなだらかな扇状地と東部の低湿地、富士山・愛鷹山へと続く斜面の間に広がる。海岸の漁村から最北の山村までの標高差800ｍの間、それぞれの地に適したくらしを営んだ人びとの姿を紹介する。

２階フロア　富士山南麓の豊富な森林資源や水を利用して発達してきた紙のまち・富士の歴史や学校教育、子どもの遊びや紙のおもちゃなどを展示する。また、近代の戦争と戦時中のくらしについての展示もある。観覧者に、「紙のまち」というフィルターを通して富士市の近代と未来の姿を考えてもらうことを目指す展示である。

②特別展示（本館）

展示室５　特別展示室・展示室６　多目的室　会期を区切って特定のテーマの展示を行う。特別展示室は気密性の高い特殊な展示ケースを採用しており、貴重な資料を展示することが可能。

③屋外展示

広見公園ふるさと村歴史ゾーン　屋外展示として、市内の貴重な建造物を移築して保存・展示しているほか、道しるべ等石造文化財の移設も行っている。屋外展示によって、動産が中心となる館内展示を補うと共に、緑と歴史の公園として、富士の歴史と文化を楽しみながら学習できる場としている。本館２階エントランスから直接、ふるさと村歴史ゾーンへと出入りすることが可能。

◇教育普及

①市民の歴史に関する知識の普及を図るために、講座・講演会・体験学習等を企画する。また、館報・博物館だより等を刊行する。

②学校教育との連携につとめ、館利用に積極的に対応し、児童生徒の博物館利用を促進する。

③ 博物館活動の一環として、郷土文化工芸団体や文化財愛護研究団体の育成助長につとめ、指導者の資質の向上をはかる。

◇資料の収集・整理・保管

富士市及びその周辺地域の歴史を理解する上で必要な資料を寄贈・購入・寄託等により収集し、整理分類した上で各収蔵庫に保管する。

◇調査研究

資料の収集や分類整理に併せ、展示の準備作業として、また市民の歴史に関する知識の普及に資するため、学術的な調査・研究活動を行う。

資料収集方針と主な収蔵資料

◇民俗資料

昭和40年代頃より、高度成長･生活安定の反映として、生活様式の変化を伴う家屋の改廃が増え、多くの民俗資料が破棄される状況の中で、保存の機運が高まる。

・農業用具…稲作及び畑作の農耕用具、浮島沼周辺生産農耕具（県指定）

・漁業用具…富士海岸沿岸で使用された漁具、及び漁船等の資料

・諸職用具…鍛冶、炭焼、山林等の資料

・生活用具…衣、食、住資料

◇美術工芸資料

本館の大テーマ「富士に生きる」に基づき、富士山にかかわりのある美術・工芸作品をはじめ、郷土にゆかりの作家の作品を収集。

富士山かぐや姫ミュージアム

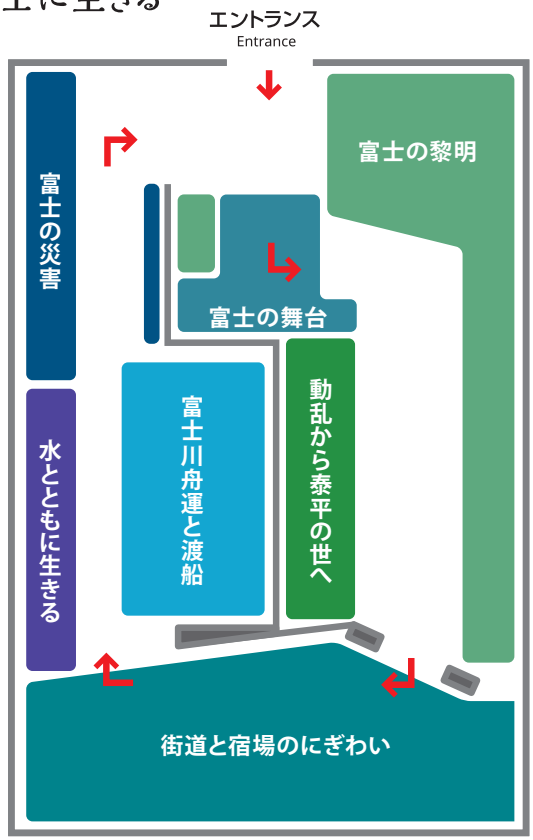
2F

1F

1F ホール

展示室1

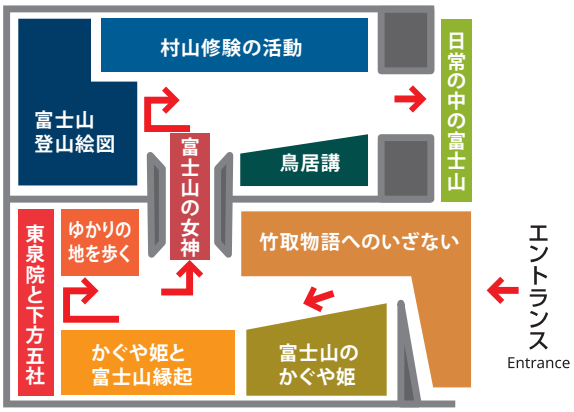
富士に生きる



展示室 1　富士に生きる（富士の舞台・富士の黎明）

展示室 1　富士に生きる（富士川舟運と渡船）

展示室3
富士山とかぐや姫

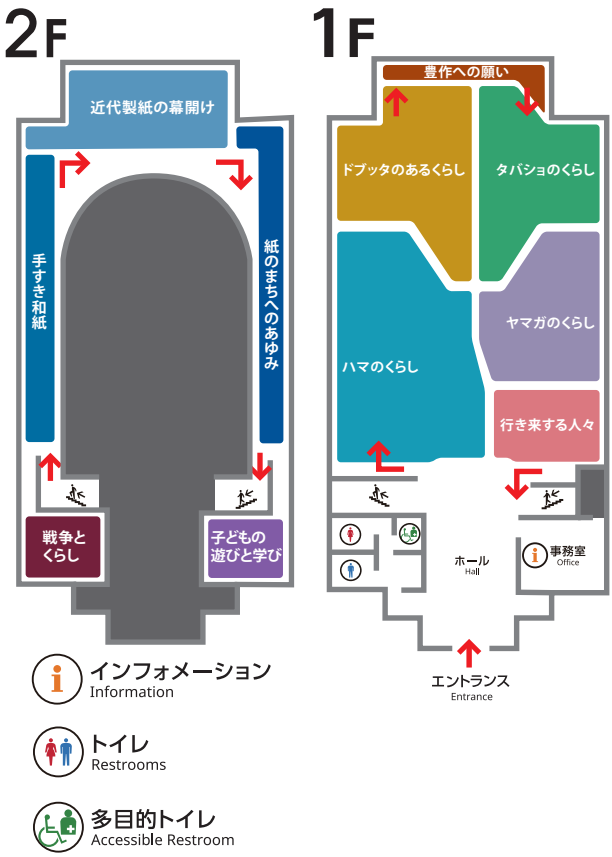


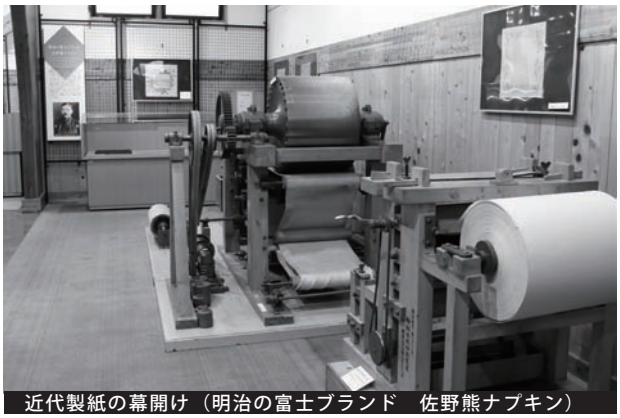
展示室３　富士山とかぐや姫（竹取物語へのいざない）

展示室３　富士山とかぐや姫（鳥居講）

展示室２　富士山の玉手箱

歴史民俗資料館（博物館分館）




近代製紙の幕開け（明治の富士ブランド　佐野熊ナプキン）

子どもの遊びと学び

・浮世絵…葛飾北斎、歌川広重、徳力富吉郎等の作品
・書及び絵画…鈴木香峰、庵原三山（麗山・泰山・鶴山）、井上恒也等の作品

◇歴史資 (史) 料

宿場関係の野口家文書や中里関家文書等の地方文書を中心に収蔵。

・古文書…野口家、関家、影山家、島崎家等
・富士山関係資料…富士山信仰絵図、富士山古写真等

◇考古資料

昭和 40 年代以降、東名高速道路等の各種建設工事・工場誘致により、埋蔵文化財の発掘調査が盛んに行われた。その際に出土した、集落跡・古墳等の資料を数多く収蔵。

・天間沢遺跡…縄文土器、石器
・三新田遺跡…土師器、須恵器、灰釉陶器
・東平遺跡…土師器、須恵器、鉄器
・東坂古墳…内行花文鏡、四獣鏡、首飾り等
・谷津原 1 号墳…須恵器、装飾付大刀、砥石、装身具

◇紙関係資料

手漉和紙用具類をはじめ、技術改良の象徴としてのナプキン製造・機械抄製紙の資料等を逐次収集。また、紙に関する工芸品の収集にもつとめる。

・手漉和紙の用具、原料（楮、三椏）、製紙機械、紙工芸品（ダルマ、凧、紙人形他）

（3）　資料及び図書収集状況

※平成 29 年度末現在、六所家旧蔵資料・小山もと子関係資料は含まない

◇収蔵資料総合計数

	館所蔵	寄託	常設借用	合計
民俗	15,211	303	5	15,519
美術工芸	2,198	49	0	2,247
歴史	17,411	1428	10	18,849
考古	6,534	2	711	7,247
紙関係	2,330	66	20	2,416
自然	123	0	0	123
視聴覚	584	0	0	584
その他	1	0	0	1
合計	44,392	1,848	746	46,986

◇受入種別所蔵資料数

①館所蔵資料

	寄贈	購入	収集	移管	合計
民俗	13,031	89	0	2,091	15,211
美術工芸	1,071	1031	0	96	2,198
歴史	15,321	609	0	1,481	17,411
考古	2,916	3	0	3,615	6,534
紙関係	1,875	394	0	61	2,330
自然	25	0	0	98	123
視聴覚	263	106	204	11	584
その他	0	1	0	0	1
合計	34,502	2,233	204	7,453	44,392

②寄贈資料

	前年度迄	29 年度	累計
民俗	12,369	662	13,031
美術工芸	1035	36	1,071
歴史	15,023	298	15,321
考古	2,836	80	2,916
紙関係	1,873	2	1,875
自然	25	0	25
視聴覚	263	0	263
その他	0	0	0
合計	33,424	1,078	34,502

③購入資料

	前年度迄	29 年度	累計
民俗	89	0	89
美術工芸	1,031	0	1031
歴史	605	4	609
考古	3	0	3
紙関係	394	0	394
自然	0	0	0
視聴覚	105	1	106
その他	0	1	1
合計	2,227	6	2,233

④収集資料

	前年度迄	29 年度	累計
視聴覚	204	0	204

⑤移管

	前年度迄	29 年度	累計
民俗	2,091	0	2,091
美術工芸	96	0	96
歴史	1,481	0	1,481
考古	3,441	174	3,615
紙関係	61	0	61
自然	98	0	98
視聴覚	11	0	11
その他	0	0	0
合計	7,279	174	7,453

＜平成 29 年度寄贈資料＞

受入番号	分野	資　料　名	点数
3021	考古	箱根表面採　旧石器時代資料 ナイフ（15）、ポイント（３）、エンドスクレイパー（２）、ノッチ（２）、コアー（１）	23
3022	民俗	カンテラ	1
3023	紙	富士特殊工業（天間）　現：丸富工業　テックス製盆	2
3024	民俗	メモ帳（１）、朱印（米の宮　１）、賽銭箱部材一覧、昭和通り山車材木仕様書（１）ﾃﾚﾋﾞ台本（NHK 1）, 写真（１７）、大工雛形　巻一（１）、パイプ（１）、ノミ（143）、ノミ彫刻刀（107）、カンナ（21）、カナヅチ（２）、バール（１）、ノコギリ（１）、キリ（１）、サシガネ（１）、ケビキ（３）、ヤスリ（５）、墨壺（１）、竹ブラシ（１）、砥石（２）、作品　作業途中（１）単行本【内訳】仏像鑑賞の旅（１）、仏像鑑賞の基本（１）、仏像をたずねて（１）、図説　日本仏像大鑑（１）、新しい仏像彫刻（１）、続仏像彫刻のすすめ（１）和綴本　三體千字文（１）、美術品写真目録（１）、日本歴史画報　明治 25 年発行５～８号（４）"	326
3025	美術	山本　秀陽書「七言双句」（１）、「伏龍鳳雛」（１）、「人の人生は・・・」（１）	3
3026	歴史	イノシシ（剥製）	1
3027	歴史	富士川関係古写真	40
3028	民俗	台ばかり（１）、まきす（かまぼこ　２）、梨箱（１）	4
3029	歴史	戦中戦後文献史料 體操教範（１）、静岡縣静団歌（１）、週報一月二十七日号　３２８号（１）、新しい憲法明るい生活（１）、生徒心得　静岡縣立富士中学校（１）、戦陣訓（１）、軍隊内務令（１）、携帯用温湿度計（１）、ゲートル（１）	9
3030	歴史	富士川町民憲章　ステンレス版（１）	1
3031	歴史	楽しく集める郵便切手（１）、切手１円（２）、切手２円（１）、切手３円（１）、切手４円（２）、切手５円（１）、切手６円（１）、切手７円（２）、切手８円（１）、切手１０円（１）、切手１２円（１）、切手２０円（１）、切手５０円（１）、風神切手９０円（１）、かぐや姫切手セット２０円×３枚（１）、封筒（かぐや姫切手付　１）	19
3032	美術	小山もと子富士の型染作品及び関係資料（約 3,500 点）	1 式
3033	歴史	日の丸寄せ書（２）、記章（９）、軍隊手帳（１）、御守（１）、守珠（３）、タイピン（１）、階級章（１）、賞状類（５）	23
3034	民俗	御膳　昭和１３年稲垣家本家（４箱）、御膳　昭和１２年下原共有（３箱）御膳　銘なし（３箱）、御膳　長（３）、御膳足つき（７）、御椀　下原共有（１箱）、大足　（１）	22
3035	歴史	戦時中の雑誌（３）、日章旗寄せ書（２）、ゲートル（１）、御守入れ（１）、補充兵手帳（１）、俘虜用郵便（１）、奉公袋（１）、浴具袋（１）、賞状類（１５）、陸軍⊠重兵学校在校記念アルバム（１）、記章（９）	36
3036	美術	富士の型染作品集「四季」（１）、野田好子スケッチ画（21）	22
3037	歴史	鈴木香峰筆「春景山水図」（１）、国文習字叢書「十六夜日記」（１）、絵本曽我物語十巻　二と三、四と五が合体（８）	10
3038	美術 歴史 考古	鈴木富男旧蔵資料 富士図　神戸麗山、雛図　藤原貞倫、俳画「岩を越水の光や月涼し」　与謝蕪村楊柳、観音図　白隠（高弟の作）、短冊　松井菅雅（５）、短冊　吾牛（２）、短冊　文母、短冊　完来、短冊　午心、短冊　月巣、表彰状・感謝状束 (22)、水墨画習作　鈴木富男（６）、鈴木富男　瑞林禅寺史原稿（９）、梅原聡哲原稿コピー「陰陽道」と「干支」生活習慣とのむすび、鈴木富男氏原稿他（コピーもあり）(65)、日蓮宗　インド仏跡めぐり関係 (28)、切手（曽我寺記念シートほか）(15)、鈴木富男葬儀関係（２）、毘沙門天布教冊子『風流説法』（７）、鈴木富男宛ハガキ（２）、須恵器杯身ほか考古関係資料 (40)	1 式
3039	歴史	富士市市街図	1
3040	考古	縄文土器片	16
3041	考古	縄文土器・石器（旧富士川町出土）	1 式
3042	民俗	富士塚アルバム（約 310 枚）	1 式

⑥寄託資料及び常設展示借用資料

＜平成 29 年度寄託資料＞

	更新中	新規借用	28 年度返却	合計
民俗	303	0	0	303
美術工芸	35	14	0	49
歴史	1,424	4	0	1428
考古	2	0	0	2
紙関係	66	0	0	66
自然	0	0	0	0
視聴覚	0	0	0	0
その他	0	0	0	0
合計	1,830	18	0	1,848

＜平成 29 年度常設展示借用資料＞

	更新中	新規借用	28 年度返却	合計
民俗	5	0	0	5
美術工芸	0	0	0	0
歴史	10	0	0	10
考古	734	0	23	711
紙関係	20	0	0	20
自然	0	0	0	0
視聴覚	0	0	0	0
その他	0	0	0	0
合計	769	0	23	746

⑦富士市立博物館所蔵資料図書数

	前年度迄	29 年度受入	合　計
購入	2,463	0	2,463
寄贈	12,144	270	12,414
会員頒布	488	16	504
合計	15,095	286	15,381

小山もと子氏富士の型染作品寄贈式

小山もと子「海の響」

小山もと子「バンブー風に舞う」

（4）　富士市立博物館条例・規則

○富士市立博物館条例

昭和 55 年 12 月 13 日条例第 30 号

改正

平成 6 年 9 月 29 日条例第 41 号
平成 19 年 9 月 28 日条例第 26 号
平成 20 年 9 月 30 日条例第 80 号
平成 24 年 3 月 29 日条例第 20 号
平成 24 年 6 月 29 日条例第 31 号
平成 27 年 10 月 15 日条例第 53 号

富士市立博物館条例

（趣旨）

第 1 条　この条例は、教育、学術及び文化の発展に寄与するため、博物館法（昭和 26 年法律第 285 号。以下「法」という。）に基づき博物館の設置及び管理等について必要な事項を定めるものとする。

（設置）

第 2 条　富士市に博物館を設置する。

2　博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

3　博物館に分館を置く。

4　前項に規定する分館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
富士市立歴史民俗資料館	富士市伝法 86 番地の 7
富士市立富士川民俗資料館	富士市岩淵 8 番地の 1

（事業）

第 3 条　富士市立博物館（以下「博物館」という。）は、次に掲げる事業を行う。

（1）　考古、歴史、民俗、産業等に関する実物、模型、模写、文献、図表、写真等の博物館資料（以下「博物館資料」という。）を収集し、保管し、及び展示すること。

（2）　博物館資料の利用に関し、必要な説明、助言、指導等を行うこと。

（3）　博物館資料に関する専門的及び技術的な調査研究を行うこと。

名称	位置
富士市立博物館	富士市伝法 66 番地の 2

（4）　博物館資料の保管及び展示等に関する技術的研究を行うこと。

（5）　博物館資料に関する案内書、解説書、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。

（6）　博物館資料に関する講演会、講習会、研究会等を開催すること。

（7）　他の博物館と協力し、情報の交換、資料の相互貸借等を行うこと。

（8）　学校、図書館等と協力し、その活動を援助すること。

（9）　博物館活動の講座、実習等のため施設を提供すること。

（10）　前各号に定めるもののほか、富士市教育委員会（以下「委員会」という。）が必要があると認める事業

（職員）

第 4 条　博物館に法第 4 条第 1 項、第 3 項及び第 5 項に規定する館長、学芸員その他必要な職員を置く。

（入館の制限）

第 5 条　委員会は、次の各号の一に該当するときは、入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

（1）　展示品等を汚損し、又はき損するおそれのあるとき。

（2）　館内の秩序を乱し、又は入館者に迷惑をかけるおそれがあると認められるとき。

（3）　その他管理上支障があると認められるとき。

（特別展観覧料）

第 6 条　博物館の特別展の展示品等を観覧しようとする者は、別表に定める特別展観覧料を納めなければならない。

2　市長は、特別の理由があると認めるときは、前項に規定する特別展観覧料を減免することができる。

（既納の特別展観覧料）

第 7 条　既納の特別展観覧料は、返還しない。ただし、市長は、特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を返還することができる。

（使用の許可）

第 8 条　博物館の講座室及び実習室等（以下「博物館の施設」という。）を使用しようとするときは、委員会の許可を受けなければならない。

（使用許可の制限）

第 9 条　委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、博物館の施設の使用を許可しないものとする。

（1）　公の秩序又は善良な風俗を害するおそれのあるとき。

（2）　集団的又は常習的に暴力的不法行為を行うおそれがある組織の利益になると認められるとき。

（3）　施設、設備、展示品等を損傷するおそれのあるとき。

（4）　その他管理上支障があると認められるとき。

（目的外使用、権利譲渡等の禁止）

第 10 条　第 8 条の規定に基づき使用の許可を受けた者（以下「使用者」という。）は、博物館の施設を許可された目的以外に使用し、又はその権利を譲渡し、若しくは転貸することができない。

（造作上の制限）

第 11 条　使用者は、博物館の施設を使用するため、特別の設備をし、又は造作を加えようとするときは、あらかじめ委員会の許可を受けなければならない。

（使用許可の取消等）

第 12 条　委員会は、次の各号の一に該当するときは、使用の許可を取り消し、又は使用を停止し、若しくは使用の制限をすることができる。

（1）　この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。

（2）　第 9 条各号に該当する理由が発生したとき。

（3）　使用許可の条件に違反したとき。

（原状回復の義務）

第 13 条　使用者は、博物館の施設の使用を終了したとき又は前条の規定により使用許可を取り消され、若しくは使用を停止されたときは、直ちにこれを原状に回復しなければならない。

（損害賠償）

第 14 条　観覧者又は使用者は、博物館の施設、設備、展示品等を損傷し、又は滅失したときは、その損害について、市長が定める額を賠償しなければならない。

2　第 12 条の規定に基づく使用の許可の取消し等によつて使用者が被つた損害については、市は、その賠償の責めを負わない。

（博物館協議会）

第 15 条　法第 20 条第 1 項の規定により、博物館に富士市立博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2　協議会は、委員 10 人以内で組織する。

3　委員は、次に掲げる者のうちから委員会が委嘱し、又は任命する。

（1）　学校教育及び社会教育の関係者

（2）　家庭教育の向上に資する活動を行う者

（3）　学識経験者

（4）　公募による市民

4　委員の任期は、2 年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5　協議会に会長を置き、委員の互選によりこれを定める。

（委任）

第 16 条　この条例に定めるもののほか、この条例の施行について必要な事項は、委員会の規則で定める。

附　則

この条例は、昭和 56 年 4 月 1 日から施行する。

附　則（平成 6 年 9 月 29 日条例第 41 号）

この条例は、平成 6 年 11 月 16 日から施行する。

附　則（平成 19 年 9 月 28 日条例第 26 号）

この条例は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

附　則（平成 20 年 9 月 30 日条例第 80 号）

この条例は、平成 20 年 11 月 1 日から施行する。

附　則（平成 24 年 3 月 29 日条例第 20 号）

1　この条例は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。

2　この条例の施行の際現に改正前の富士市立博物館条例第 15 条第 2 項の委員である者は、その任期中に限り、改正後の富士市立博物館条例第 15 条第 2 項の委員とみなす。

附　則（平成 24 年 6 月 29 日条例第 31 号）

この条例は、公布の日から施行する。

附　則（平成 27 年 10 月 15 日条例第 53 号）

この条例は、平成 28 年 4 月 29 日から施行する。

別表（第６条関係）

特別展観覧料

区分		金額
個人	小人	市長が別に定める額
	大人	
団体	20 人以上 1 人につき	個人に係る所定の特別展観覧料の６割に相当する額

備考

1　小人とは、小学校の児童及び中学校の生徒をいい、大人とは、小人及び小学校就学前の児童を除いた者をいう。

2　市内の小学校又は中学校の教育課程に基づく学習活動として入館する場合は、児童又は生徒及び引率者の特別展観覧料は、免除する。

○富士市立博物館条例施行規則

昭和 56 年３月 25 日教育委員会規則第５号

〔注〕平成９年から改正経過を注記した。

改正

平成元年１月 19 日教委規則第１号

平成９年３月 24 日教委規則第１号

平成 17 年２月 24 日教委規則第１号

平成 27 年 10 月 15 日教委規則第 10 号

富士市立博物館条例施行規則

（趣旨）

第１条　この規則は、富士市立博物館条例（昭和 55 年富士市条例第 30 号。以下「条例」という。）の施行について必要な事項を定めるものとする。

（開館時間）

第２条　富士市立博物館（以下「博物館」という。）の開館時間は、次のとおりとする。ただし、富士市教育委員会（以下「委員会」という。）が必要と認めたときは、これを変更することができる。

（1）　夏期（４月から 10 月まで）午前９時から午後５時まで

（2）　冬期（11 月から翌年３月まで）午前９時から午後４時 30 分まで

（休館日）

第３条　博物館の休館日は、次のとおりとする。ただし、委員会が必要と認めたときは、これを変更し、又は臨時に休館することができる。

（１）　月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法　　律第 178 号）に定める休日に当たる日は、火曜日）

（２）　国民の祝日に関する法律に定める休日の翌日

（３）　12 月 28 日から翌年１月４日まで

（特別展観覧券）

第４条　条例第６条第１項の規定による特別展観覧料の納付は、富士市立博物館特別展観覧券（第１号様式）によるものとする。ただし、団体が観覧しようとする場合は、富士市会計規則（昭和 41 年富士市規則第 22 号）第８条の規定により取り扱うものとする。

（特別展観覧料の減免）

第５条　条例第６条第２項の規定による特別展観覧料の減免は、次の各号による。

（１）　生活保護の世帯員、母子家庭、父子家庭の家族及び身体障害者等が入館する場合　全額

（２）　市で全国又は県下大会等公的催しが行われ関係者が入館する場合　全額

（３）　その他特別の理由があると認める場合　全額又は２分の１の額

（使用許可の申請）

第６条　条例第８条の規定により博物館の施設の使用の許可を受けようとする者は、富士市立博物館使用許可申請書（第２号様式）を委員会に提出しなければならない。

2　前項に規定する申請書の提出は、使用日前２週間までとする。ただし、委員会がやむを得ない理由があると認めるときは、この限りでない。

（使用の許可）

第７条　委員会は、前条第１項に規定する申請書の提出があつたときは、これを審査し、適当と認めたときは、富士市立博物館使用許可書（第３号様式）を交付する。

（使用許可の取消し等の願出）

第８条　博物館の施設の使用の許可を受けた者（以下「使用者」という。）が、その取消し又は変更を願い出ようとするときは、使用日前５日までに富士市立博物館使用許可取消し・変更願（第４号様式）に富士市立博物館使用許可書を添えて委員会に提出しなければならない。

（遵守事項）

第９条　観覧者及び使用者は、次の各号に掲げる事項を守らなければならない。

（１）　施設、設備、展示品等を汚損し、又は損傷しないこと。

（２）　所定の場所以外において火気を使用しないこと。

（３）　許可を受けないで展示品の模写又は撮影をしないこと。

（４）　許可を受けないで募金若しくは図録の販売又はこれらに類する行為をしないこと。

（５）　前各号に定めるもののほか、管理上必要な指示に反する行為をしないこと。

（博物館協議会）

第 10 条　会長は、会務を総理し、富士市立博物館協議会（以下「協議会」という。）を代表する。

2　会長に事故があるときは、あらかじめ会長の指定する委員がその職務を代理する。

第 11 条　会長は、協議会を招集し、会議の議長となる。

2　協議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

3　協議会の議事は、出席した委員の過半数をもつて決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

附　則

この規則は、昭和 56 年４月１日から施行する。

附　則（平成元年１月 19 日教委規則第１号）

この規則は、公布の日から施行する。

附　則（平成９年３月 24 日教委規則第１号）

1　この規則は、平成９年４月１日から施行する。

2　この規則の施行の際、改正前の規則の様式により作成されている用紙は、当分の間、調整して使用することができる。

附　則（平成 17 年２月 24 日教委規則第１号）

この規則は、平成 17 年４月１日から施行する。

附　則（平成 27 年 10 月 15 日教委規則第 10 号）

この規則は、平成 28 年４月 29 日から施行する。

第１号様式（第４条関係）

富士市立博物館特別展観覧券

¥
１人１回限り

月　　日　　№（通し番号）

一部改正〔平成 27 年教委規則 10 号〕

第２号様式（第６条関係）

富士市立博物館使用許可申請書

年　　月　　日

（あて先）富士市教育委員会

申請者　住所（所在地）
氏名（名称及び代表者）

次のとおり博物館を使用したいので、申請します。

記

日　　時	
施　　設	
目　　的	
内　　容	
人　　員	
特別設備の有無	

一部改正〔平成９年教委規則１号・17 年１号〕

第３号様式（第７条関係）

富士市立博物館使用許可書

第　　号

年　　月　　日

様

富士市教育委員会　印

年　　月　　日付け申請のあつた博物館の使用については、次のとおり許可します。

記

日　　時	
施　　設	
目　　的	
人　　員	
使用許可の条件	

第４号様式（第８条関係）

富士市立博物館使用許可取消し・変更願

年　　月　　日

（あて先）富士市教育委員会

願出者　住所（所在地）
氏名（名称及び代表者）

年　　月　　日付け　　第　　号をもつて許可のあつた博物館の使用について、次のとおり取消し・変更をしたいので願い出ます。

記

取消し・変更の理由
変更の内容

一部改正〔平成９年教委規則１号・17 年１号〕

利用案内

＜富士山かぐや姫ミュージアム（富士市立博物館）＞

◇所 在 地　〒 417-0061 静岡県富士市伝法 66 番地の２　TEL 0545-21-3380　FAX 0545-21-3398
◇開館時間　夏期（４月～ 10 月）9:00 ～ 17:00　／　冬期（11 月～３月）9:00 ～ 16:30
◇休 館 日　月曜日（祝日の場合は開館）、祝日の翌日、年末年始
◇観 覧 料　無料
◇交　　通　Ｊ Ｒ 線：ＪＲ東海道本線富士駅・吉原駅、東海道新幹線新富士駅から車で 20 分
路線バス：吉原中央駅③番線で乗車、「広見団地入口」下車、徒歩３分
高速バス：富士 IC「東名富士」下車、徒歩 20 分
車　：西富士道路「大淵・広見インター」降りて東へ１分、駐車場あり

＜富士市立歴史民俗資料館（博物館分館）＞

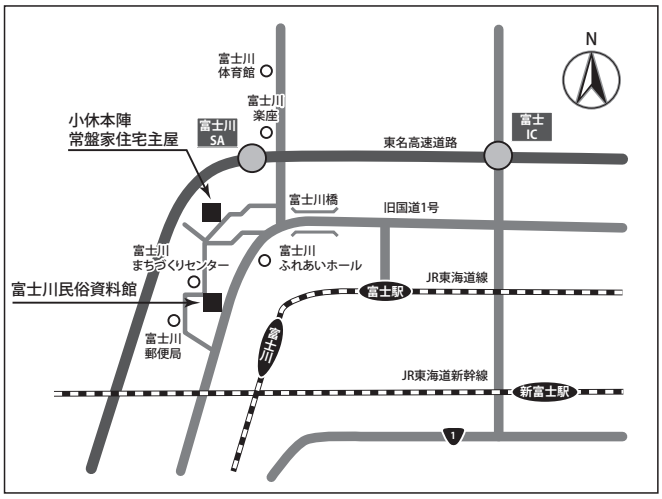
◇所 在 地　〒 417-0061 静岡県富士市伝法 86 番地の７　TEL･FAX は博物館に同じ
博物館より北へ徒歩３分　＊広見公園歴史ゾーン (博物館に隣接) に屋外展示
◇開館時間・休館日・お問い合わせ先は博物館に同じ
◇観 覧 料　無料

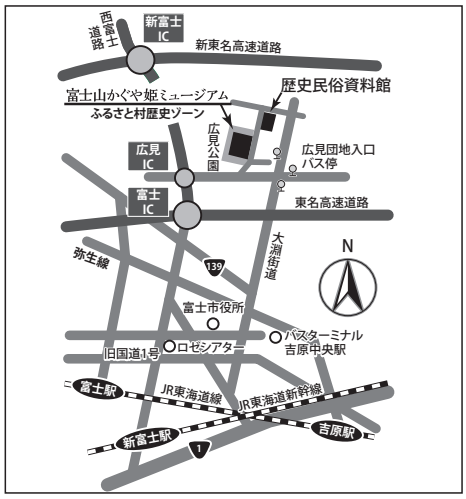
＜富士市立富士川民俗資料館／稲葉家住宅（博物館分館）＞

◇所 在 地　〒 421-3305 静岡県富士市岩淵８- １　TEL･FAX は博物館に同じ
◇開 館 日　土･日･祝日（開館時間は博物館と同じ）　※団体から御予約があれば、平日も開館いたします。
◇観 覧 料　無料
◇お問い合わせ先は博物館に同じ
◇交　　通　Ｊ Ｒ 線：ＪＲ東海道本線富士川駅から徒歩 15 分
高速バス：東名富士川 SA「東名富士川」下車、徒歩 15 分
車　：東名高速道路富士 IC 降りて南西へ約 30 分、または、東名富士川 SA スマートIC 降りて南西へ２分、駐車場あり

＜小休本陣常盤家住宅主屋（国登録有形文化財）＞

◇所 在 地　〒 421-3305 静岡県富士市岩淵 455　TEL･FAX は博物館に同じ
◇開 館 日　土･日･祝日（開館時間は 9:00 ～ 16:00）　※団体から御予約があれば、平日も開館いたします。
◇観 覧 料　無料
◇お問い合わせ先は博物館に同じ
◇交　　通　Ｊ Ｒ 線：ＪＲ東海道本線富士川駅から徒歩 20 分
高速バス：東名富士川 SA「東名富士川」下車、徒歩 10 分
車　：駐車場がございませんので車での御来場は御遠慮願います。





平成 29 年度　博物館職員

館長	木ノ内　義　昭
統括主幹	齋　藤　俊　之
主幹	高　林　晶　子
主査（学芸員）	瀧　浪　和　美
主査（学芸員）	井　上　卓　哉
上席主事（学芸員）	藤　村　　翔
上席主事（学芸員）	杉　本　寛　郎
臨時職員（調査員）	山　本　倫　弘
臨時職員（指導員）	久保田　英　聖
臨時職員（管理員）	宇佐美　和　代
臨時職員（事務補助）	土　屋　麻由美
臨時職員（事務補助）	伴　野　香　苗

富士山かぐや姫ミュージアム　館報

第 33 号（平成 29 年度）

編集・発行　富士山かぐや姫ミュージアム（富士市立博物館）
〒 417-0061　静岡県富士市伝法 66 － 2
TEL　0545(21)3380
FAX　0545(21)3398
E-mail：museum@div.city.fuji.shizuoka.jp
URL:http://museum.city.fuji.shizuoka.jp
発行日　平成 30 年 8 月 31 日
印　刷　富士市

Annual Report

vol.33 / 2017

The Annual Report of The Mt.Fuji and Princess Kaguya Museum in Fuji city,Shizuoka,Japan

August,2018

Mt.Fuji and Princess Kaguya Museum

Administrative document registration number of Fuji city 30-7